

Process Design

ユーザーズガイド（管理者）

「Process360 Live Process Design Ver.19.5.2 ユーザーズガイド（管理者）」© SunPlanningSystems, Inc. All rights reserved.

（株）サン・プランニング・システムの書面による事前の許可がある場合を除き、本書の一部または全体を複製したり、電送することはできません。また、記憶装置に保存したり、他言語に翻訳することも禁止されています。

目次

第1章	サーバー管理	3
1.	ユーザー管理	3
1.1	ユーザーの登録	3
1.2	グループの登録	8
第2章	Process360 Live Process Design 概要	11
1.	Process360 Live Process Design	11
2.	画面構成	12
2.1	パスワードの方針	12
3.	ライセンス	13
3.1	ライセンスの確認	15
3.2	ライセンスの追加	15
3.3	ライセンス割り当て	16
4.	セキュリティ	18
4.1	セキュリティロールの種類	18
4.2	セキュリティロールの割り当て	23
5.	サーバー設定	27
6.	電子メール管理	29
7.	サポート	30
7.1	システム情報	30
7.2	パフォーマンスログ	31
7.3	保守	31
7.4	システムログ	33
7.5	ログ設定	34
7.6	REST API	34
8.	カスタマイゼーション	35
8.1	外観	35
8.2	ダイナミックリンク	36
8.3	ユーザー表示名	37
8.4	通知	37
9.	リポジトリ	38
9.1	リポジトリの登録	38
9.2	リポジトリの管理	39

第3章	リポジトリ設定	41
1.	カスタムプロパティ	41
1.1	カスタムプロパティの登録	41
1.2	編集	44
1.3	並べ替え	44
1.4	削除	45
2.	リポジトリの方針	47
2.1	バージョンの方針	47
2.2	セキュリティの方針	49
2.3	非表示のルートオブジェクト	49
3.	サイクルグループ	50
3.1	サイクルグループの新規作成	50
3.2	サイクルグループのユーザーまたはグループの変更	52
3.3	サイクルグループ完了要件の指定	53
3.4	サブグループの追加	54
3.5	デフォルトのサイクルグループ	56
4.	電子メール通知（サイクル管理・コメント）	58
5.	リポジトリ単位のカスタマイゼーション	61
6.	プロパティ	62
7.	言語	64
7.1	言語の追加	64
7.2	メイン言語の変更	65
7.3	削除	66
8.	詳細	67
9.	ごみ箱	69
9.1	復元	69
9.2	削除	69

第1章 サーバー管理

「サイドメニュー」の「管理」セクションで、Process Design のサーバーレベルの各種設定を行うことができます。「管理」セクションは、サーバーロールで管理者権限が割り当てられているユーザーのみ表示されます。

1. ユーザー管理

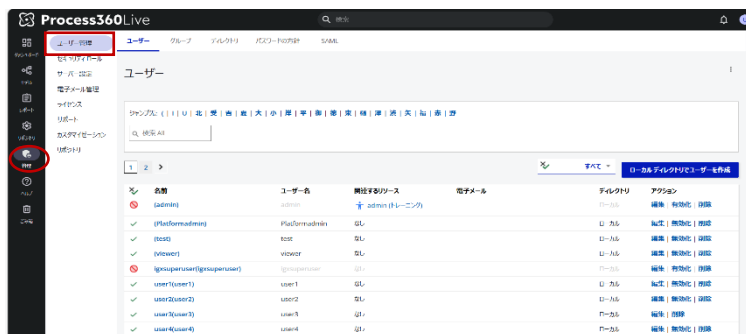
Process Design を利用するユーザーの登録、削除、管理を行うことができます。また、パスワード方針を設定できます。

1.1 ユーザーの登録

新規登録

下記の手順でユーザーを登録することができます。

- ① 「管理」-「ユーザー管理」を選択します。
- ② 「ユーザー」タブをクリックします。
- ③ 「ローカルディレクトリでユーザーを作成」ボタンをクリックします。



- ④ ユーザー名、パスワード、その他必要なユーザーの情報を入力して、「ユーザーの作成」ボタンをクリックします。

ローカル ディレクトリでユーザーを作成

ユーザー名(必須)
user11

パスワード(必須)
..... パスワードの表示
1以上の英数字を記す。

パスワードの確認(必須)
.....

名
新太郎

姓
山田

電子メール
yamada@xxxx.co.jp

☐ 次回のログインでパスワードの変更をユーザーに要求する

☐ 招待電子メールをユーザーに送信する (次回のログインでパスワードの変更を要求する)

ユーザーの作成

※初回ログインするためのパスワードが自動生成されセットされています。

「パスワード表示」ボタンをクリックすると表示できます。パスワードを手動で入力することもできます。

※「次回のログインでパスワードの変更をユーザーに要求する」

チェックを入れると、ユーザーが初回ログイン時にパスワード変更入力画面が表示されます。

※「招待電子メールをユーザーに送信する (次回のログインでパスワードの変更をユーザーに要求する)」

ユーザー登録時に、該当のユーザーに招待通知を送信することができます。

ユーザー名、初回パスワードを通知します。

チェックを入れると「次回のログインでパスワードの変更をユーザーに要求する」にもチェックが入ります。

編集

次の手順で登録済みのユーザーを編集します。

- ① 「ユーザー管理」のユーザー一覧から編集したいユーザーを見つけます。
「ジャンプ先」リンクを使用するか、検索ボックスに入力して一覧から登録済みのユーザーを探します。
- ② ユーザー名をクリックするか、「アクション」列で「編集」ボタンをクリックします。
- ③ 「ユーザーの詳細」画面で必要な修正を行い、「変更の保存」ボタンをクリックします。

Process360 Live Process Design ユーザーズガイド(管理者)

The screenshot displays the Process360 Live user management interface. The main table lists users with columns for name, user ID, linked resources, email, directory, and actions. A red arrow points to the 'user1' row. A modal window titled 'ユーザーの詳細' (User Details) is open for 'user11', showing fields for name, email, roles, and a 'パスワードの変更' (Change Password) button. Another modal window titled 'Change Password' is also shown, with a red arrow pointing to the 'パスワードの変更' button in the user details modal.

「ユーザーの詳細」画面でユーザーに割り当てられているサーバー ロール、リポジトリ ロール、リンク リソースを表示します。

- 「サーバー ロール」および「リポジトリ ロール」に割り当てられているロール(青字)をクリックすると、該当の「セキュリティ ロール」 ページに移動します。
- 「リンクしたリソース」の「表示」ボタンから「ユーザーをリソースにリンク」ボタンをクリックして企業オブジェクト「リソース」とリンクすることができます。複数のリポジトリに接続可能な場合は、リポジトリ毎にリソースをリンクできます。

"山田 新太郎 (user11)" をリソースにリンク

リポジトリの選択

Training

既存のリソースの選択 | 新しいリソースの作成

キャンセル

ユーザーがパスワードを忘れてしまった場合

新しいパスワードを設定することができます。

「既存のリソースの選択」ボタンをクリックすると「使用可能なリソースの選択」画面が表示されます。

検索フィールドに名前を入力して選択、または「ツリーを表示」をオン（スライドを右に移動）にすることでリソースツリーを展開します。

リソースを選択して「選択内容の確認」ボタンをクリックします。

The dialog box titled '使用可能なリソースの選択' (Select Available Resources) contains a search bar at the top with a magnifying glass icon. Below it is a toggle switch for 'ツリーの表示' (Show Tree) which is currently turned on. The main area displays a tree structure: 'リソース' (Resources) is expanded, showing '部門組織' (Department Organization) which is also expanded to show '営業部' (Sales Department). Under '営業部', the user '山田 新太郎' (Yamada Shintaro) is listed with a checked checkbox. At the bottom, a tag '山田 新太郎' with a close button 'X' is shown. Two buttons at the bottom right are 'キャンセル' (Cancel) and '選択内容の確認' (Confirm Selection).

「新しいリソースの作成」ボタンをクリックすると「親位置の選択」画面が表示されます。

検索フィールドに名前を入力して選択、または「ツリーを表示」をオン（スライドを右に移動）にすることでリソースツリーが展開できます。新規作成するリソースフォルダまたは親リソースオブジェクトを選択します。

The dialog box titled '親位置の選択' (Select Parent Location) has a search bar at the top. Below it is a toggle switch for 'ツリーの表示' (Show Tree) which is turned on. The tree structure shows 'リソース' (Resources) expanded to '部門組織' (Department Organization), which is further expanded to show a list of departments: '人事部' (HR Dept), '営業事業本部' (Sales Business Dept), '営業部' (Sales Dept), '情報システム部' (Information Systems Dept), '生産管理部' (Production Management Dept), and '管理部' (Management Dept). The '人事部' (HR Dept) is selected with a checked checkbox. At the bottom, a tag '人事部' with a close button 'X' is shown. Two buttons at the bottom right are 'キャンセル' (Cancel) and '選択内容の確認' (Confirm Selection).

リソース名、リソースの種類、概要を入力して、「ユーザーをリソースにリンク」ボタンをクリックします。

The form titled '"新太郎 山田" をリソースにリンク' (Link 'Shintaro Yamada' to Resource) includes a 'レポートの選択' (Select Report) dropdown menu with 'Training' selected. Below this is a section for '新しいリソースの場所' (New Resource Location) with a radio button for '総務部 変更' (General Affairs Dept Change). The '名前' (Name) field contains '山田 新太郎'. The 'リソースの種類' (Resource Type) dropdown menu shows '人' (Person) selected. There is a large text area for '概要' (Summary). At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and 'ユーザーをリソースにリンク' (Link User to Resource).

「リンクされたリソース」に表示されているリソースをクリックすると、該当のリソースオブジェクトのページに移動します。「リンクの削除」をクリックしてそれらのリンクを削除できます。



※Process Design を使用して手動で追加されたローカルユーザーのみ編集できます。データベース・ディレクトリーからインポートされたユーザーは、「アクション」列に「編集」「削除」ボタンは表示されません。連携元のデータベース管理者が編集する必要があります。

※サーバーおよびリポジトリ ロールの設定、またはリソースを作成してユーザーをリンクするには、適切なアクセス権やライセンスが割り当てられている必要があります。

無効化・有効化

「ユーザー管理」のユーザー一覧から無効化したいユーザーの「無効化」ボタンをクリックします。

ユーザーを無効化するとログインできなくなります。（ライセンスの割り当てから除外されます。）

「ユーザー管理」のユーザー一覧からユーザーの「有効化」ボタンをクリックすると、設定していた状態に戻ります。

ユーザーの状態をプルダウンより選択して抽出表示できます。

				<div> <div>すべて</div> <div>有効</div> <div>無効</div> </div>	ローカルディレクトリーでユーザーを作成
名前	ユーザー名	電子メール	ディレクトリ	アクション	
佐藤 亜子 (admin)	admin		ローカル	編集 無効化 削除	
坂口 健次郎 (architect)	architect		ローカル	編集 無効化 削除	
山田 新太郎 (user11)	user11	yamada@xxxxxx.co.jp	ローカル	編集 無効化 削除	
田中 大翔 (collaborator)	collaborator		ローカル	編集 無効化 削除	
鈴木 一郎 (Platfrmadmin)	Platfrmadmin		ローカル	編集 削除	
高橋 順子 (designer)	designer		ローカル	編集 無効化 削除	

削除

次の手順で登録済みのユーザーを削除します。

- ① 「ユーザー管理」のユーザー一覧から削除したいユーザーの「削除」ボタンをクリックします。

✓	名前	ユーザー名	電子メール	ディレクトリ	アクション
✓	佐藤 華子 (admin)	admin		ローカル	編集 無効化 削除
✓	坂口 健次郎 (architect)	architect		ローカル	編集 無効化 削除
✓	山田 新太郎 (user11)	user11	yamada@xxxxx.co.jp	ローカル	編集 無効化 削除

- ② 確認画面で「削除」ボタンをクリックします。

✓	坂口 健次郎 (architect)	architect		ローカル	編集 無効化 削除
ユーザー 山田 新太郎 (user11) を削除しますか? この操作を元に戻すことはできません。					削除 キャンセル
✓	田中 大翔 (collaborator)	collaborator		ローカル	編集 無効化 削除

- ③ タブ「ユーザー」をクリック、または画面表示を更新すると削除情報は消えます。

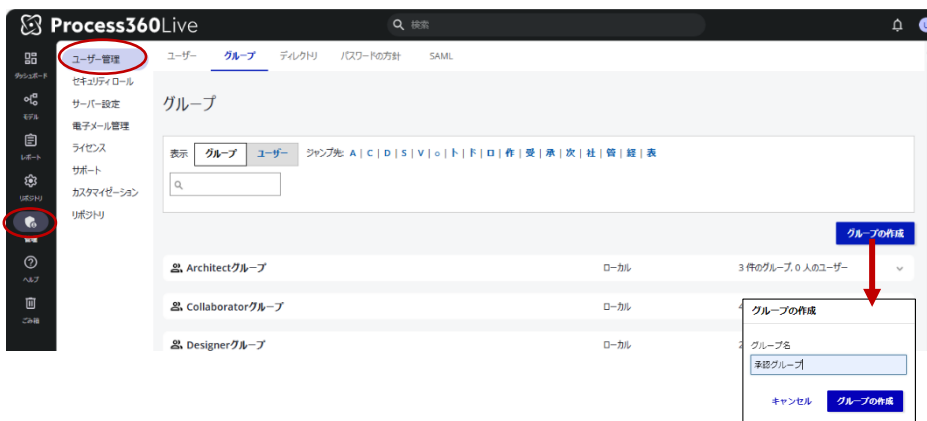
✓	名前	ユーザー名	電子メール	ディレクトリ	アクション
✓	佐藤 華子 (admin)	admin		ローカル	編集 無効化 削除
✓	坂口 健次郎 (architect)	architect		ローカル	編集 無効化 削除
×	山田 新太郎 (user11)	user11	yamada@xxxxx.co.jp	ローカル	削除済み
✓	田中 大翔 (collaborator)	collaborator		ローカル	編集 無効化 削除
✓	鈴木 一郎 (Platformadmin)	Platformadmin		ローカル	編集 削除
✓	高橋 順子 (designer)	designer		ローカル	編集 無効化 削除

1.2 グループの登録

新規登録

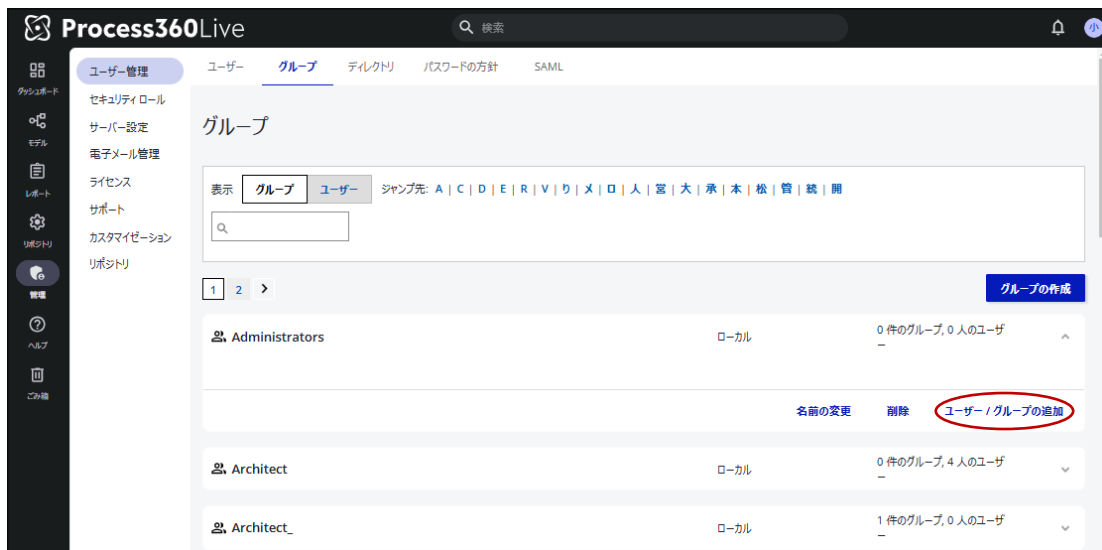
下記の手順でグループを新たに登録することができます。

- ① 「管理」-「ユーザー管理」オプションを選択します。
- ② 「グループ」タブをクリックします。「表示」領域で、「グループ」が選択されていることを確認します。
- ③ 「グループの作成」ボタンをクリックします。
- ④ グループ名を入力して、「グループの作成」ボタンをクリックします。



ユーザー/グループの追加

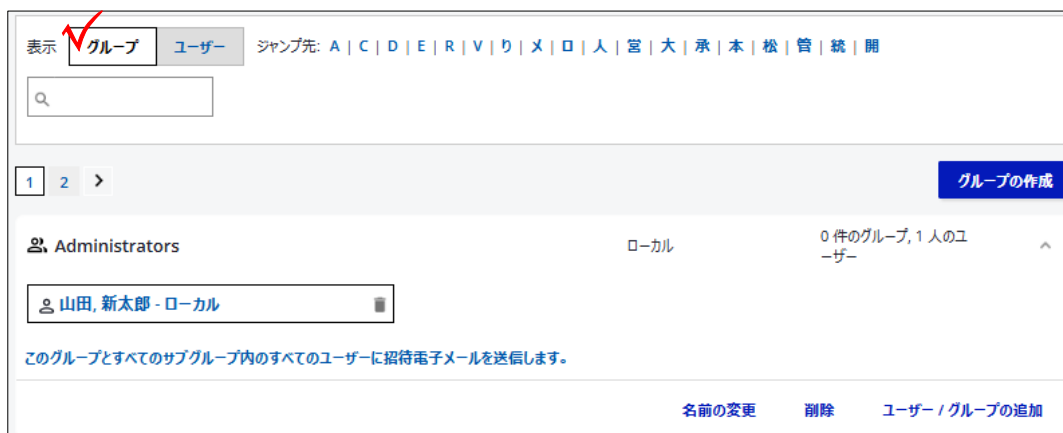
- ① 「ユーザー/グループの追加」ボタンをクリックします。



- ② グループに追加するユーザーまたはグループを検索して選択します。
- ③ 「選択内容の確認」ボタンをクリックします。



- ④ 選択したユーザーが追加されていることを確認します。



※表示「ユーザー」をクリックすると、ユーザー単位で属するグループを確認・追加・変更できます。

表示: **グループ** **ユーザー** ジャンプ先: . | A | C | H | K | P | S | T | U | Y | ア | エ | テ | デ | 亀 | 京 | 伊 | 佐 | 副 | 南 | 原 | 吉 | 坂 | 安 | 寅 | 富 | 小 | 山 | 平 | 後 | 部 | 徳 | 恒 | 支 | 木 | 松 | 森 | 永 | 池 | 河 | 海 | 郷 | 理 | 由 | 社 | 抄 | 編 | 荒 | 課 | 泰 | 藤 | 鈴 | 高 | 高

検索ボックス:

ページネーション: < 1 2 3 >

ユーザー: 山田, 新太郎 ローカル 2 件のグループ

グループ: ローカル Administrators - ローカル


グループに追加

グループの「名前を変更」や「ユーザー/グループの追加」をする時は、「ジャンプ先」リンクを使用する

または 🔍 検索ボックスに入力して一覧から登録済グループまたはユーザーを見つけることができます。

削除

次の手順で属しているユーザーグループやグループそのものを削除します。

- ① 「ユーザー管理」のグループ一覧から削除したいグループを表示します。
- ② グループに属するユーザーの一部を削除したい場合は、該当ユーザーの  アイコンをクリックします。
「変更が保存されました」メッセージが表示します。
タブ「グループ」をクリック、または画面表示を更新すると表示メッセージと「元に戻す」ボタンは消えます。

承認グループ ローカル 1 件のグループ, 1 人のユーザー

グループ: 大阪 - ローカル 山田, 新太郎 - ローカル

このグループとすべてのサブグループ内のすべてのユーザーに招待電子メールを送信します。

名前の変更 削除 ユーザー / グループの追加

- ③ グループそのものを削除したい場合は、「削除」ボタンをクリックします。

承認グループ ローカル 1 件のグループ, 1 人のユーザー

グループ: 大阪 - ローカル 山田, 新太郎 - ローカル

このグループとすべてのサブグループ内のすべてのユーザーに招待電子メールを送信します。

名前の変更 **削除** ユーザー / グループの追加

確認画面で「削除」ボタンをクリックします。

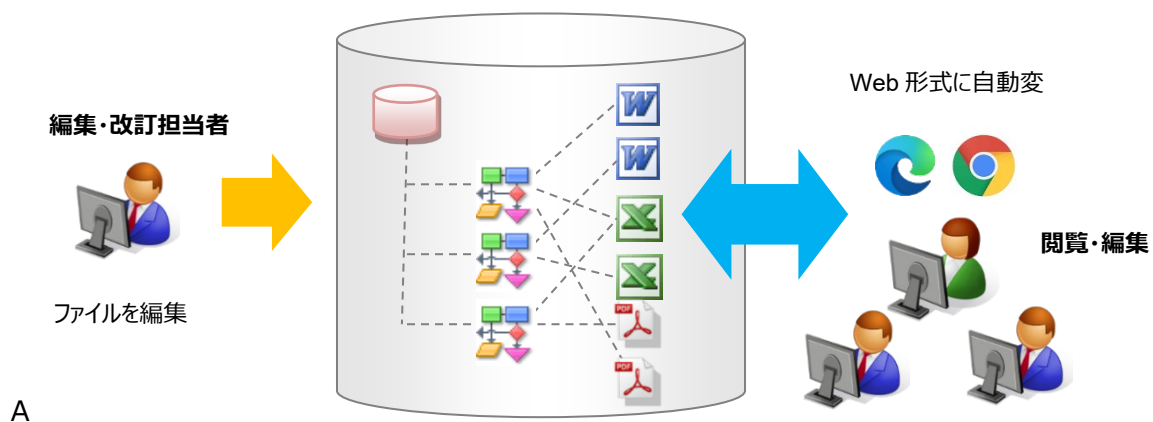
グループ 承認グループ を削除しますか? この操作を元に戻すことはできません。

キャンセル **削除**

第2章 Process360 Live Process Design 概要

1. Process360 Live Process Design

Process360 Live Process Design（以下、Process Design と称します。）は、iGrafx 製品やその他のアプリケーションで作成したファイルを一元管理するためのファイル管理システムです。Process Design でファイルを管理することにより、いつ、誰が、どのような理由でファイルを変更したのか、詳細な変更履歴を残すことができます。プロセスの RACI やプロセスが、企業の戦略、組織、役割、システムなどの側面とどう関連するかのリレーションを記録できます。これらの情報すべてが、自動で Web 形式に変換されますので、閲覧者はブラウザ上でファイルを閲覧することができます。

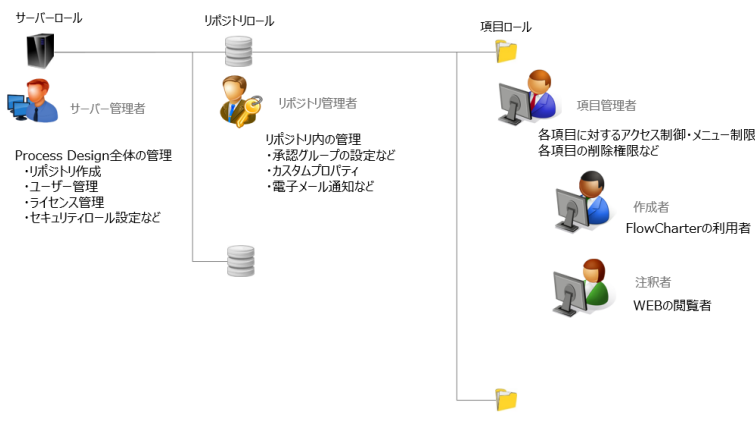


Process Design は、3 つのキーファクターによって利用可能な機能が変わります。

- ・ユーザー・インターフェース（iGrafx デスクトップクライアント製品なのか Web ブラウザなのか）
- ・ユーザーに割り当てたライセンス
- ・サーバー、リポジトリ、およびリポジトリ項目レベルでユーザーに与えられた許可

※リポジトリとは、iGrafx ドキュメントやその他の外部ファイルを格納する書庫のようなものです。

本ガイドでは、サーバー管理者、リポジトリ管理者といったユーザーに対して与えられた「管理」項目について記述します。



2. 画面構成

「管理」項目の設定は Web ブラウザから行います。

WEB の画面は「サイドメニュー」、「リポジットリツリー」、業務フローの表示画面と大きく 3 つに分かれます。

「リポジットリツリー」は、業務フローを表示している場合のみ表示されます。

「サイドメニュー」で「モデル」以外が選択されている場合、「リポジットリツリー」は表示されません。

※「サイドメニュー」はユーザーの権限によって表示されるメニュー数が異なります。



2.1 パスワードの方針

ユーザー登録時のログインパスワードについて、複雑さの方針を設定できます。

下記の手順でパスワードの方針を設定できます。

- ① 「管理」-「ユーザー管理」オプションを選択します。
- ② 「パスワードの方針」タブをクリックします。



3. ライセンス

ユーザーが Process Design を利用するには、ライセンスが必要です。

ライセンスの種類には、「Viewer」「Collaborator」「Designer」「Architect」の 4 つがあります。

ライセンスに基づくユーザーの利用可能な機能は、以下のマトリクス表の通りです。

No	機能	ユーザーライセンス			
		Viewer	Collaborator	Designer	Architect
1	iGrafx クライアント製品(※1)から Process Design への接続	○	○	○	○
2	承認されたフロー(iGrafx ドキュメント) の閲覧及び IGX 図表の PDF 印刷 承認されたファイル(PDF, EXCEL, WORD など)の閲覧・ダウンロード	○	○	○	○
3	承認されたフロー(iGrafx ドキュメント)およびファイル(PDF, EXCEL, WORD など)の追認及び確認	○	○	○	○
4	フロー(iGrafx ドキュメント)にコメントを追加・返信・閲覧)	○	○	○	○
5	承認された企業オブジェクト、ダッシュボード、レポートの参照	○	○	○	○
6	iGrafx クライアント製品(※1)からフロー(iGrafx ドキュメント)のチェックアウト・チェックイン		○	○	○
7	未承認のフロー(iGrafx ドキュメント)およびファイル、(PDF, EXCEL, WORD など)、Web Diagram、企業オブジェクト(※2)の閲覧(PDF 印刷、ダウンロード)・検討及び承認		○	○	○
8	サイクル管理(検討・承認・追認・確認)の編集・申請者グループの指定・開始申請・スケジュール設定		○	○	○
9	フォルダの作成・編集(名前の変更、フローの格納、移動、表示順の指定など)Web アドレスオブジェクト(URL リンク設定)の作成・編集		○	○	○
10	フロー(iGrafx ドキュメント)以外のファイル(PDF, EXCEL, WORD など)の追加・変更		○	○	○
11	Web Diagram の作成・編集・管理			○	○
12	Web Diagram から新しい企業オブジェクトを提案			○	○
13	リソース(人、組織、IT)、用語集(専門用語)の作成・編集			○	○
14	ダッシュボード、レポートの作成・編集			○	○
15	企業オブジェクト(※2)の作成・編集				○
16	Web Diagram から提案された企業オブジェクト(※2)の作成				○
17	Web Diagram で使用する図形集を作成・編集				○

※1 iGrafx クライアント製品（デスクトップアプリ）～別にインストールが必要です。

FlowCharter、Process、Process for Six Sigma

※2 企業オブジェクト（戦略、目標、ジャーニー、プロセス、製品、作業成果物など）

PRC オブジェクト（リスク、コントロール、KPI、機会など）は追加モジュールが必要

3.1 ライセンスの確認

保有しているライセンスの情報は「管理」-「ライセンス」で確認できます。

現在のライセンスの情報は各ライセンス情報の「詳細の表示」で確認できます。



3.2 ライセンスの追加

ライセンスを追加するには新しいライセンスのアクティブ化を行います。

- ① ライセンス入手後、「新しいライセンスのアクティブ化」ボタンをクリックします。
- ② 新しいライセンスキーを入力して、「ライセンスをオンラインで今すぐアクティブ化」ボタンをクリックします。



3.3 ライセンス割り当て

保有しているライセンスをどのユーザーまたはグループに割り当てるのかを指定します。

割り当て

下記の手順でライセンスを割り当てます。

- ① 「管理」-「ライセンス」オプションを選択します。
- ② 「ライセンス割り当て」タブをクリックします。
- ③ 「ライセンスの割り当て」ボタンをクリックします。
- ④ ライセンスを割り当てるユーザーまたはグループを検索して選択します。
- ⑤ 割り当てるライセンスを選択して「ライセンスの割り当て」ボタンをクリックします。


The screenshot shows the Process360 Live interface. In the left sidebar, the 'Licenses' tab is selected. The main area displays the 'License Assignment' section. A table shows the current license usage for different roles:

Role	Usage
Viewer	27件 (100件中) を使用中
Collaborator	9件 (50件中) を使用中
Designer	7件 (50件中) を使用中
Architect	9件 (50件中) を使用中

Below the table, there is a search bar and a list of users/groups. A modal window is open for selecting a user/group, showing a list of users and groups. The 'Collaborator' group is selected. Another modal window is open for selecting a license, showing a list of licenses. The 'Collaborator' license is selected.

割り当ての解除

次の手順で割り当て済みのライセンスを解除します。

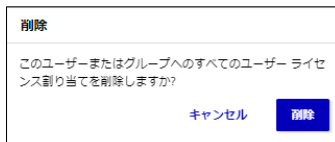
- ① 「ライセンス割り当て」の割り当て一覧から解除したいユーザーまたはグループを表示します。
- ② ユーザーまたはグループに割り当たっているライセンスの一部を解除したい場合は、該当ライセンスの  アイコンをクリックします。



- ③ ユーザーまたはグループへの割り当てすべてを解除したい場合は、「削除」ボタンをクリックします。



確認画面で「削除」ボタンをクリックします。



4. セキュリティ

4.1 セキュリティロールの種類

Process Design では、「サーバー」「リポジトリ」「項目」の3つのレベルのセキュリティがあり、ユーザーおよびグループに対して、機能を利用できる範囲の権限を割り当てます。（グループに対して割り当てると管理が容易です）

権限を割り当てるには、それぞれの機能に対する「許可」を組み合わせた「ロール」を割り当てます。

サーバーロール

サーバーロールには、ユーザーの管理やグローバル テーマとロゴの編集など、ユーザーがアプリケーション内で管理タスクを実行できるようにするための許可が含まれます。

◆ 【サーバーレベルの許可】

許可項目	説明
アプリケーションの使用	Process Design ログインに必要です。
ライセンスの管理	管理メニュー「ライセンス」ページを使用できます。
リポジトリの作成と管理	管理メニュー「リポジトリ」ページでリポジトリの作成・登録・リポジトリ表示設定ができます。
リポジトリの削除	管理メニュー「リポジトリ」-「管理」ページの「管理」タブより、リポジトリの削除、登録解除、リポジトリ表示設定ができます。
ユーザーディレクトリの管理	管理メニュー「ユーザー管理」ページの「ディレクトリ」タブより「新しいディレクトリを追加」ができます。
ユーザーとグループの表示	管理メニュー「ユーザー管理」ページの「ユーザー」及び「グループ」タブで登録済みユーザーやグループの一覧を表示できます。 「ユーザーとグループの管理」権限を持っているユーザーは、この権限に関係なくユーザーとグループを閲覧することができます。
ユーザーとグループの管理	管理メニュー「ユーザー管理」ページの「ユーザー」タブでユーザーの作成・編集・無効化・削除、「グループ」タブでグループの作成・名前変更・削除ができます。
パスワードの方針の管理	管理メニュー「ユーザー管理」ページの「パスワードの方針」タブを使用して、パスワードの複雑さを設定できます。 最小文字数・大文字の最小文字数・特殊文字の最小数・最小の数字文字数
サーバーロールの割り当て	管理メニュー「セキュリティロール」ページの「サーバーロールの割り当て」タブを使用できます。
サーバー設定の編集	管理メニュー「サーバー設定」「電子メール設定」ページを使用できます。 一般設定・データベース設定・更新の確認・電子メール設定
サーバーロールの管理	管理メニュー「セキュリティロール」ページの「サーバーロール」（サーバーロールに対する権限の付与、設定解除、拒否設定）と「サーバーロールの割り当て」（サーバーロールを割り当てるユーザー）のタブが設定できます。
リポジトリロールの管理	管理メニュー「セキュリティロール」ページの「リポジトリロール」（リポジトリロールに対する権限の付与、設定解除、拒否設定）と「リポジトリの割り当て」（リポジトリロールを割り当てるユーザー）のタブが設定できます。

許可項目	説明
項目ロールの管理	管理メニュー「セキュリティロール」ページの「項目ロール」（項目ロールに対する権限の付与、設定解除、拒否設定）のタブが設定できます。
カスタマイズ可能	管理メニュー「電子メール管理」ページの「電子メールテンプレート」タブ、及び「カスタマイゼーション」ページの設定ができます。
サポート機能へのアクセス	管理メニュー「サポート」が使用できます。 システム情報・パフォーマンスログ・保守・システムログ・ログ設定・タブ「REST API」にある「Process Design API 文書」ページ
問題をレポートできる	ヘルプメニュー「サポートへの連絡」を使用して iGrafx 社のサポートに問題を報告できます。※別途ユーザー登録が必要です。
REST API へのアクセス	管理メニュー「サポート」ページの「REST API」タブを使用できます。 Process Design と通信するための API に関する設定ができます。

リポジトリロール

リポジトリロールは、割り当てられたリポジトリ内の管理権限を設定します。リポジトリへのアクセスや、特定の管理タスクの実行を許可するために、リポジトリロールを使用します。

◆ 【リポジトリレベルの許可】

許可項目	説明
リポジトリの使用	「モデル」メニューでリポジトリを表示、または編集するためには必要です。
リポジトリツリーの表示	リポジトリツリーを表示できます。 この権限がなくても一覧表示・検索・階層リンク・各リンク等を使用してコンテンツを表示・編集することは可能です。
リポジトリ設定の管理	設定メニューの以下の項目にアクセスできます。 方針・電子メール通知・サイクルグループ・リソース・カスタマイゼーション・プロパティ・言語・詳細
カスタム プロパティの管理	リポジトリ設定メニュー「カスタムプロパティ」ページが使用できます。
サイクル グループの管理	リポジトリ設定メニュー「サイクルグループ」ページが使用できます。
一括承認を許可	このロールを持つユーザーは、To-Do リストで複数の承認項目を選択し、まとめて承認することができます。
リスク設定の管理	リポジトリ設定メニュー「リスク」ページが使用できます。（追加モジュール「PRC」が必要です）
コントロール設定の管理	リポジトリ設定メニュー「コントロール」ページが使用できます。（追加モジュール「PRC」が必要です）
業績評価指標の設定の管理	リポジトリ設定メニュー「業績評価指標」ページが使用できます。（追加モジュール「PRC」が必要です）
業績評価指標データの変更	業績評価指標インジケータのデータを変更できます。（追加モジュール「PRC」が必要です）
業績評価指標データの追加	業績評価指標インジケータにデータを追加できます。（追加モジュール「PRC」が必要です）
ジャーニーの設定の管理	リポジトリ設定メニュー「ジャーニー」ページが使用できます。
機能設定の管理	リポジトリ設定メニュー「機能」ページが使用できます。
機会設定の管理	リポジトリ設定メニュー「機会」ページが使用できます。

許可項目	説明
リポジトリロールの割り当て	管理メニュー「セキュリティロール」ページの「リポジトリロールの割り当て」タブが使用できます。
項目許可の設定	リポジトリ項目で「許可」タブを使用し、ユーザー/グループへのロールの割り当てができます。
削除したすべてのオブジェクトを表示する	削除したすべてのオブジェクトを「ごみ箱」メニューで確認できます。

項目ロール

項目ロールは、許可されたリポジトリの項目に対してアクセス制限や項目で使用できるメニューを制限します。ここで作成する項目ロールは、すべてのリポジトリで使用できます。

◆ 【項目レベルの許可】

許可項目	説明
表示	リポジトリツリー内の項目、および検索とクエリーの結果を見ることができます。ツリー内の上位フォルダに表示権限を持っていないユーザーは、フォルダ内にある項目に表示権限を持っていても、そのフォルダを見ることはできません。
図表コメントの追加	図表上にコメントを追加できます。
自分の図表コメントの修正	図表上にある、自分が追加したコメントの修正ができます。
自分の図表コメントの解決/ 再オープン	図表上にある、自分が追加したコメントに対して、解決・未解決のフラグを設定することができます。未解決のフラグに変更するとコメントを図表上に再表示します。
自分の図表コメントの削除	図表上にある、自分が追加したコメントを削除できます。
すべての図表コメントの表示	図表上にある、すべてのコメントの場所を表示できます。
すべての図表コメントの移動	図表上にある、すべてのコメントの場所を移動できます。
任意の図表コメントの解決/ 再オープン	図表上にある、誰かのコメントに対して、解決・未解決のフラグを設定することができます。未解決のフラグに変更するとコメントを図表上に再表示します。
すべての図表コメントの削除	図表上にある、すべてのコメントを削除できます。
印刷	ファイルの印刷ができます。
非承認項目の表示	未承認バージョンを参照・検索対象にすることができます。(Viewer ライセンス除く) 「ヒストリの表示」許可があっても、以前に承認されたバージョンしか見ることができません。 「承認サイクル」により未承認のファイルを承認するように求められた場合は、未承認のバージョンを閲覧する一時的な権限が付与されます。
ヒストリの表示	項目の変更履歴や過去にチェックインしたバージョンのファイルを表示することができます。(許可により「ヒストリ」タブを表示) 過去の未承認バージョンを表示するには、「非承認項目の表示」許可とライセンスが必要です。ラベル付きバージョンの表示も同様です。
変更	ファイル・レポート・Web diagram のチェックアウト・チェックインできます。 フォルダには適用できません。チェックアウト中に「変更」許可が取消された場合は、「チェックイン」はできなくなり「チェックアウトを元に戻す」のみ可能になります。
移動	リポジトリ内で項目を指定した場所に移動することができます。 項目の移動をするには移動先に「作成」許可が必要です。

許可項目	説明
	移動元のフォルダや項目に「削除」許可は不要です。
作成	新しい項目(ファイル・フォルダ・オブジェクト)をフォルダやリポジトリ内に作成できます。
削除	項目(ファイル・フォルダ・オブジェクト)をリポジトリから削除できます。
名前の変更	項目名を変更できます。
検討	検討サイクルで検討結果のフィードバックができます。
承認	承認サイクルで承認・否認の投票ができます。
追認	追認サイクルで承認済みのファイルを開覧して是認や支持を表明できます。
リスクデータの追加	リスクまたはリスクインスタンスに値を追加できます。(追加モジュール「PRC」が必要)
リスクデータの修正	リスクまたはリスクインスタンスの既存の値を変更できます。(追加モジュール「PRC」が必要)
プロジェクト ステータスの変更	Desktop Client ツールで、自分が所有者でないファイルでも「項目のプロパティ」の「プロジェクトのステータス」タブの内容を設定・変更ができます。
検討者の設定	検討サイクルでユーザーを追加・変更・削除できます。 検討サイクルを開始するには「検討サイクルの管理」許可が必要です。
承認者の設定	承認サイクルでユーザーを追加・変更・削除できます。 承認サイクルを開始するには「承認サイクルの管理」許可が必要です。
追認者の設定	追認サイクルでユーザーを追加・変更・削除できます。 追認サイクルを開始するには「追認サイクルの管理」許可が必要です。
確認者の設定	確認サイクルユーザーを追加・変更・削除できます。 確認サイクルを開始するには「確認サイクルの管理」許可が必要です。
検討サイクルの管理	検討サイクルの開始とスケジュール設定ができます。 検討サイクルグループを変更するには「検討者の設定」許可が必要です。
承認サイクルの管理	承認サイクルの開始とスケジュール設定ができます。 承認サイクルグループを変更するには「承認者の設定」許可が必要です。
追認サイクルの管理	追認サイクルの開始とスケジュール設定ができます。 追認サイクルグループを変更するには「追認者の設定」許可が必要です。
確認サイクルの管理	確認サイクルの開始とスケジュール設定ができます。 確認サイクルグループを変更するには「確認者の設定」許可が必要です。
選択監視者の管理	オブジェクトに対して監視者を設定できます。
必須監視者の管理	オブジェクトに対して必須監視者を設定できます。
管理	<ul style="list-style-type: none"> ・項目の権限、および管理所有者を変更できます。 ・保留中の承認申請を取り消しができます。 ・他のユーザーがチェックアウトしている項目についてチェックアウトの取り消しができます。 (リポジトリロールの「項目許可の設定」の許可が必要です。)

◆ 【デフォルトで設定されている項目ロール】

許可項目	管理者	作成者	表示者	承認済み のみ表示	なし	すべて 拒否
表示	○	○	○	○		×
図表コメントの追加	○	○	○	○		×
自分の図表コメントの修正	○	○	○	○		×
自分の図表コメントの解決/再オープン	○	○	○	○		×
自分の図表コメントの削除	○	○	○	○		×
すべての図表コメントの表示	○	○	○	○		×
すべての図表コメントの移動	○	○				×
任意の図表コメントの解決/再オープン	○	○				×
すべての図表コメントの削除	○	○				×
印刷	○	○	○	○		×
非承認項目の表示	○	○	○			×
履歴の表示	○	○				×
変更	○	○				×
移動	○	○				×
作成	○	○				×
削除	○	○				×
名前の変更	○	○				×
検討	○	○	○	○		×
承認	○	○	○	○		×
追認	○	○	○	○		×
リスクデータの追加	○	○				×
リスクデータの修正	○	○				×
プロジェクト ステータスの変更	○					×
検討者の設定	○	○				×
承認者の設定	○	○				×
追認者の設定	○	○				×
確認者の設定	○	○				×
検討サイクルの管理	○	○				×
承認サイクルの管理	○	○				×
追認サイクルの管理	○	○				×
確認サイクルの管理	○	○				×
選択監視者の管理	○					×
必須監視者の管理	○					×
管理	○					×

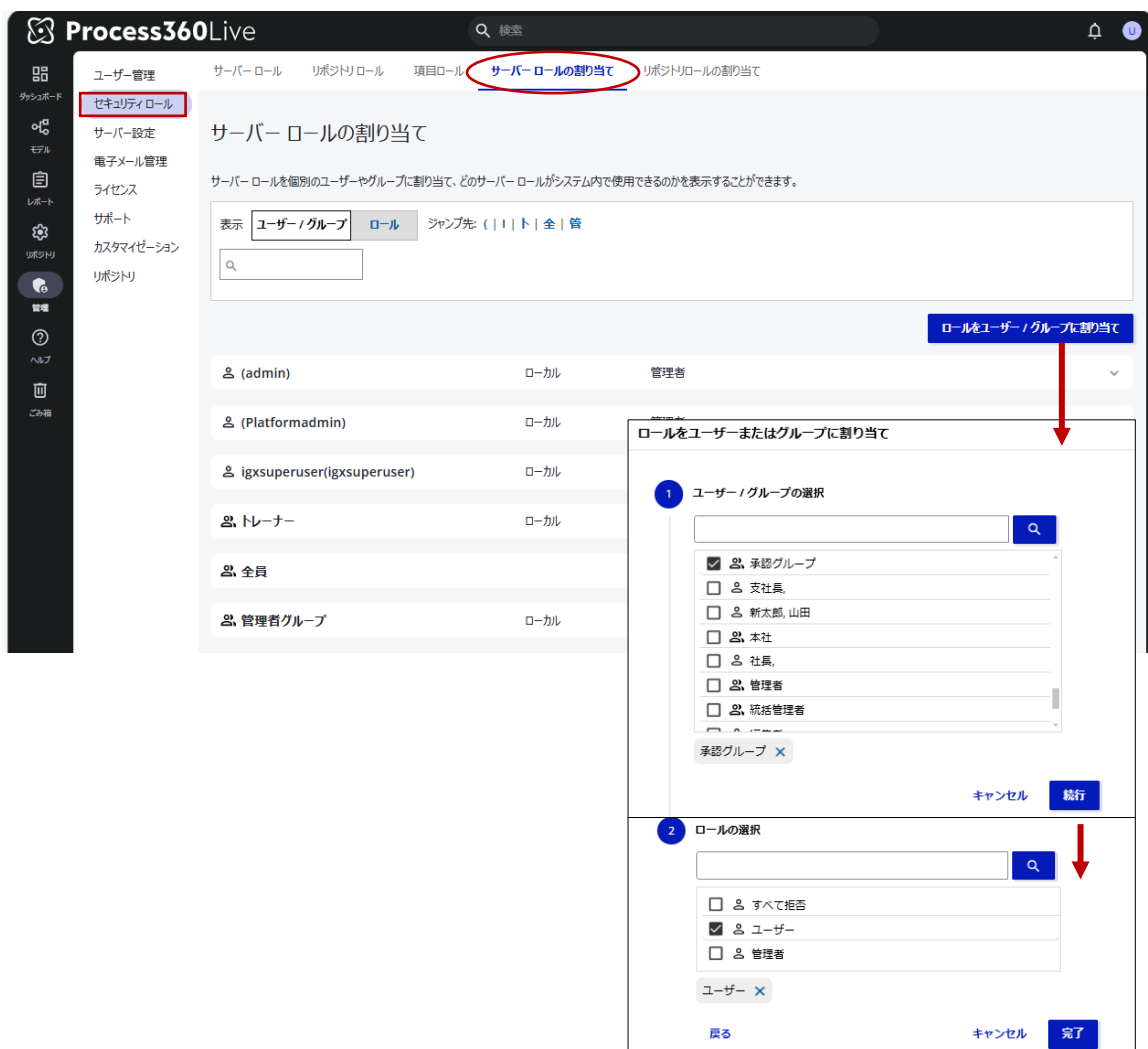
4.2 セキュリティロールの割り当て

サーバーロールの割り当て

サーバーロールをユーザーおよびグループに割り当て、サーバー管理の権限を設定します。

次の手順で、サーバーロールを割り当てることができます。

- ① 「管理」-「セキュリティロール」オプションを選択します。
- ② 「サーバーロールの割り当て」タブをクリックします。
- ③ 「ロールをユーザー/グループに割り当て」ボタンをクリックします。
- ④ ロールを割り当てるユーザーまたはグループを検索して選択します。「続行」ボタンをクリックします。
- ⑤ 「続行」ボタンをクリックします。
- ⑥ 割り当てるロールを検索して選択します。
- ⑦ 「完了」ボタンをクリックします。



リポジトリロールの割り当て

リポジトリロールをユーザーおよびグループに割り当て、リポジトリ管理の権限を設定します。

次の手順で、リポジトリロールを割り当てることができます。

- ① サーバーロールの割り当てと同様に、「リポジトリロールの割り当て」タブで、ロールを割り当てるユーザーまたはグループを検索して選択し、「続行」ボタンをクリックします。
- ② 割り当てるロールを検索して選択し、「続行」ボタンをクリックします。
- ③ 割り当てるリポジトリを選択します。
- ④ 「完了」ボタンをクリックします。

The screenshot displays the Process360 Live web application. In the top navigation bar, the 'Repository Role Assignment' (リポジトリロールの割り当て) tab is highlighted. The main content area shows a table of roles with columns for role name, type, and status. A modal window titled 'Role Assignment' (ロールをユーザーまたはグループに割り当て) is open, guiding the user through three steps:

- Step 1: User/Group Selection (ユーザー / グループの選択)**: A search bar and a list of users and groups are shown. The '承認グループ' (Approval Group) is selected.
- Step 2: Role Selection (ロールの選択)**: A search bar and a list of roles are shown. The 'ユーザー' (User) role is selected.
- Step 3: Repository Selection (リポジトリの選択)**: A search bar and a list of repositories are shown. The 'Template' repository is selected.

Red arrows indicate the flow from the 'Repository Role Assignment' tab to the modal, and then through the steps. The modal includes 'キャンセル' (Cancel) and '続行' (Continue) buttons at each step, and a '完了' (Complete) button at the end.

項目ロールの割り当て

項目ロールをユーザーおよびグループに割り当て、リポトリ項目の権限を設定します。

項目ロールの割り当ては、リポトリツリーで、各リポトリ項目に対して設定します。

次の手順で、項目ロールを割り当てることができます。

- ① リポトリツリーから、項目ロールを割り当てたい項目を選択します。
- ② 「許可」タブをクリックし、「ロールをユーザー/グループに割り当て」ボタンをクリックします。
- ③ ロールを割り当てるユーザーまたはグループを検索して選択し、「続行」ボタンをクリックします。
- ④ 割り当てるロールを検索して選択します。
- ⑤ 「完了」ボタンをクリックします。



◆ 管理所有者について

項目を作成すると、作成者はその項目の「管理所有者」となり、すべての許可が与えられます。

「管理所有者」は、ロールの設定よりも優先されます。

以下の手順で管理所有者を変更できます。（「管理」許可が必要です）

※ 新しい項目を作成する際に特定のユーザーを管理所有者に設定することも可能です。P47 バージョンの方針参照

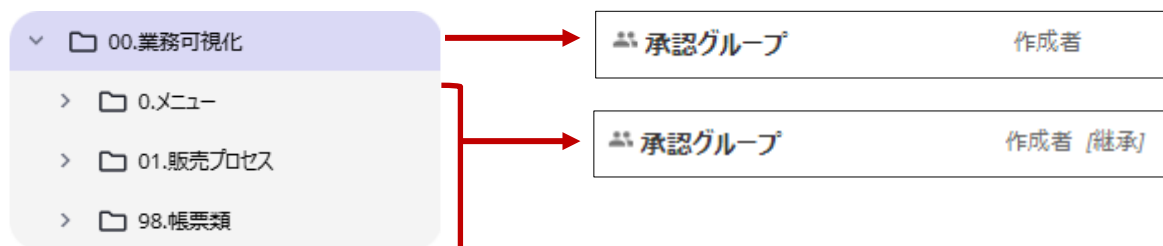
- ① リポトリツリーから、管理所有者を変更したい項目を選択し、「許可」タブをクリックします。
- ② 「管理所有者」の表示横の「変更」ボタンをクリックします。
- ③ 適用させたいユーザーを選択して、「選択内容の確認」ボタンをクリックします。



※「すべての子孫項目の所有者も変更する」にチェックを入れると、その項目の下位階層にあるすべての項目についても管理所有者が変更されます。

◆ ロールの継承について

リポトリツリーの上位の項目で割り当てたロールは、下位の項目に自動的に継承されます。



※継承されたロールから別のロールに割り当てを変更することができます。

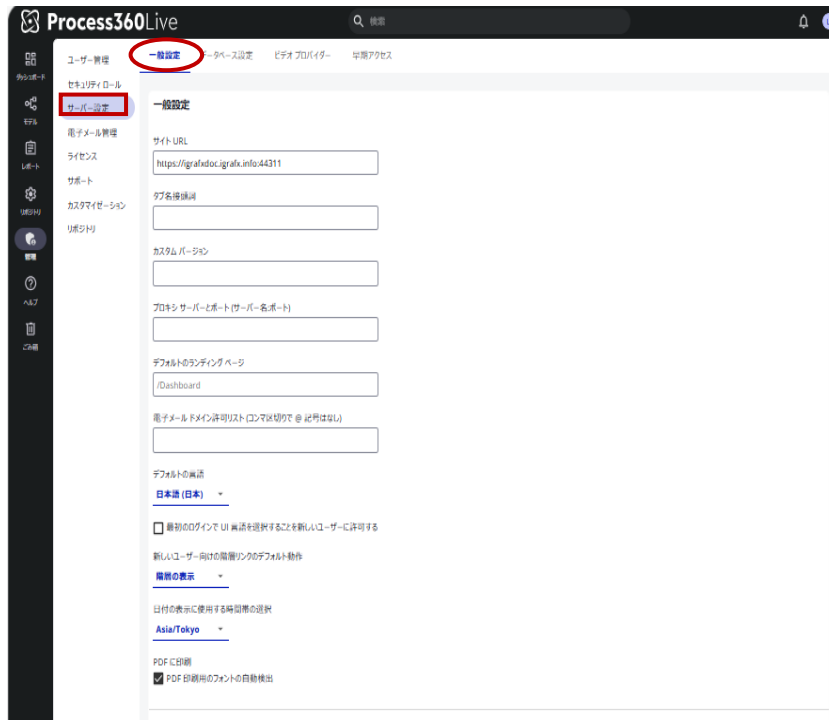
5. サーバー設定

サイト、データベースの設定および更新の確認ができます。

「管理」-「サーバー設定」オプションをクリックします。

※この設定はシステム導入時およびバージョンアップ時にシステムの設計者により設定されます。

詳細は「Process Design インストールガイド」を参照ください。



必要に応じて以下の設定を変更できます。右下の「保存」ボタンをクリックすると設定が適用されます。

項目	説明
サイト URL	Process Design サイトの URL です。 この URL は、Process Design への作業リンクを作成して電子メール通知に使用されます。
デフォルトのランディングページ	ログイン直後にユーザーに表示する Process Design の入り口ページを指定します。 ナビゲーションロゴをクリックした時も指定したページを表示します。 →設定例は次ページ参照。
デフォルトの言語	デフォルトのコンテンツ言語を設定します。 「最初のログインで UI 言語を選択することを新しいユーザーに許可する」にチェックを入れると、ユーザーが初めてログインした時に使用したい UI 言語を選択します。
新しいユーザー向けの階層リンクのデフォルト操作	「階層の表示」または「最近の履歴の表示」の初期値(デフォルト)を設定できます。
日付の表示に使用する時間帯の選択	日付表示に使用するデフォルトのタイムゾーンを選択します。 ユーザーは、「プロフィール」ページの「設定」タブで、自分のタイムゾーン表示を指定することができます。
PDF に印刷	図表を PDF に出力する際のフォント設定を調節します。

◆ ランディングページの設定例

① ダッシュボードを表示

デフォルトのランディング ページ

/Dashboard

Process360Live

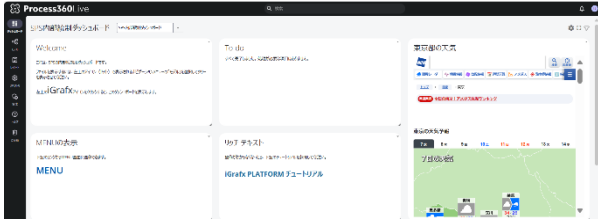
ユーザー名

パスワード

☐ 次回から入力を省略

サイン イン

→ログイン→



② 図表(トップページメニュー等)やレポート(文書リスト等)を表示

Web ブラウザのアドレスバーから URL をコピーし、「デフォルトのランディングページ」フィールドに貼り付けます。サーバー名のコンポーネントを削除して、「https://igrafxdemo.com/Process/GlobalCorp/obj/6051」

→「/Process/GlobalCorp/obj/6051」となるように設定します。(ファイルの表示許可設定は適用されます)

デフォルトのランディング ページ

/Process

Process360Live


ユーザー名

パスワード

☐ 次回から入力を省略

サイン イン

→ログイン→



③ モデル(リポジットリー覧)の表示

デフォルトのランディング ページ

/Process

Process360Live

ユーザー名

パスワード

☐ 次回から入力を省略

サイン イン

→ログイン→




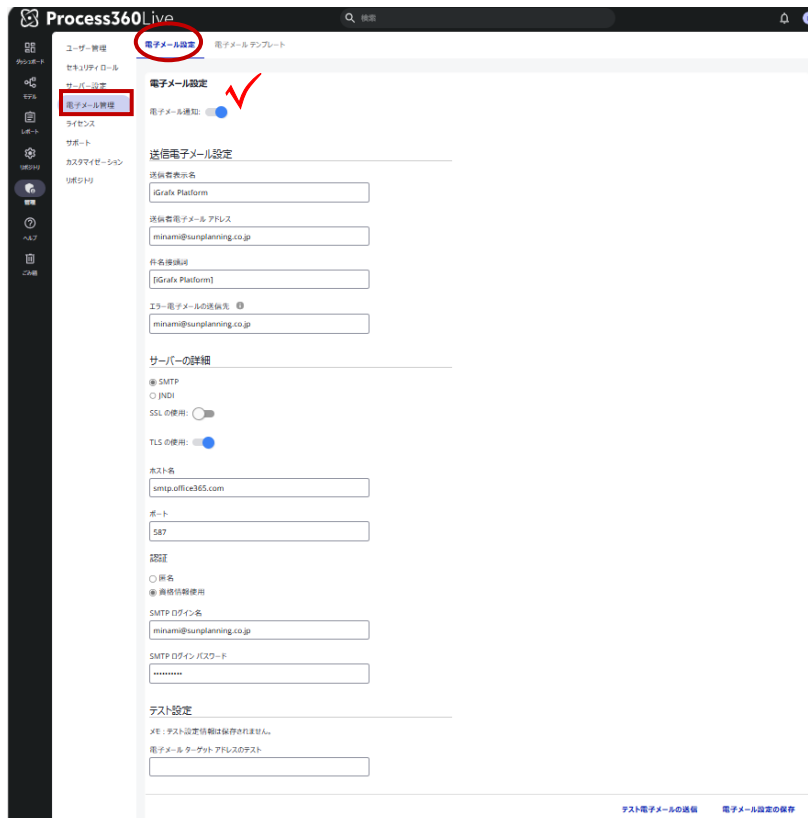
6. 電子メール管理

ユーザーに、変更管理・サイクル管理にてメールでの通知機能を使用可能にするために電子メールの設定を行います。

「管理」-「電子メール管理」オプションをクリックします。

※この設定はシステム導入時にシステムの設計者により設定されます。

送信電子メールの設定を行った後、電子メール通知をオン  にします。デフォルトはオフです。



◆ 設定のテスト

「電子メールターゲットアドレスのテスト」に送信先のメールアドレスを入力して「テスト電子メールの送信」ボタンをクリックします。

テストが成功すると「テストメールが正常に送信されました。」メッセージが表示されます。

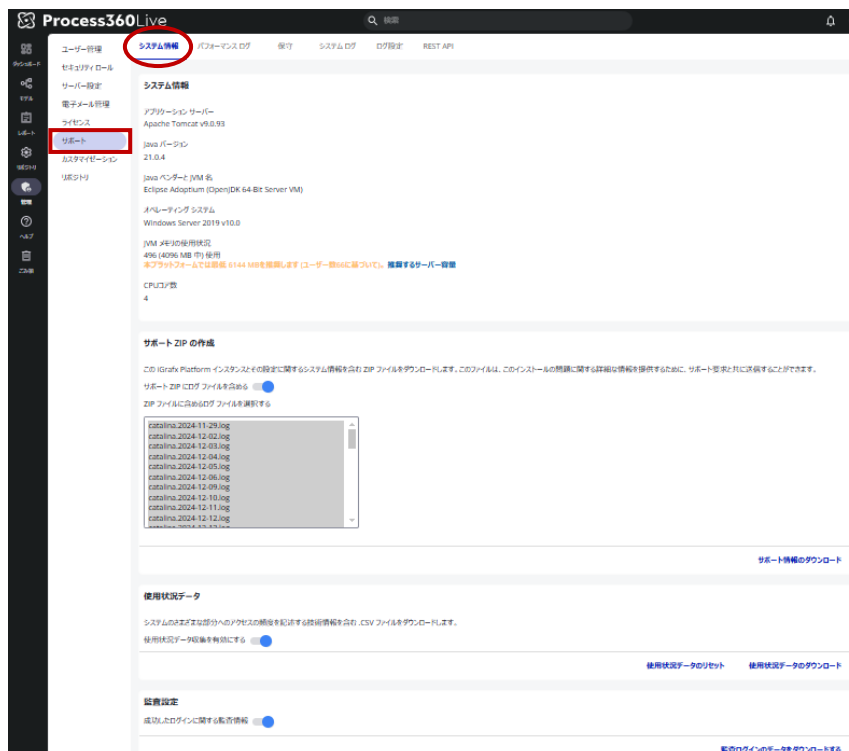
7. サポート

サーバーのシステム情報やログの出力設定、REST API の設定などを行うことができます。

「管理」-「サポート」をクリックします。


7.1 システム情報

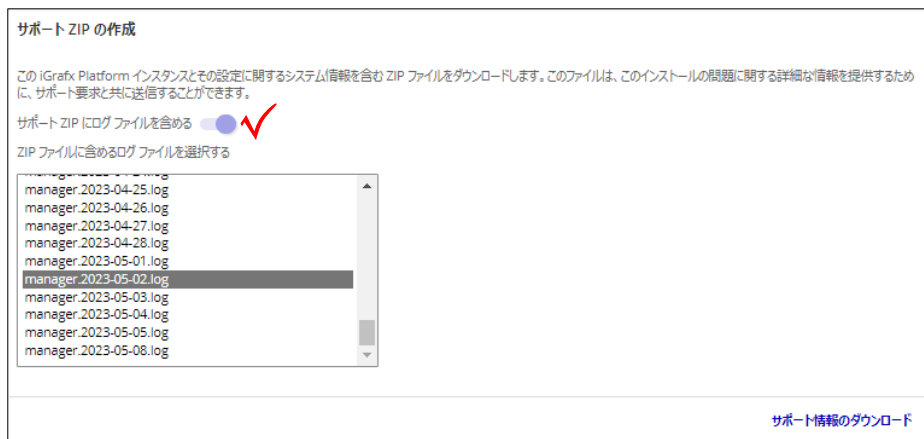
サーバーのシステム情報の参照や、サポートに必要なデータのダウンロードに使用します。



項目	説明
システム情報	サーバーの名称やバージョン、メモリの使用状況を確認できます。
サポート ZIP の作成	Process Design インスタンスや設定に関するシステム情報を ZIP ファイルでダウンロードできます。 ※ログファイルを選択し ZIP に含めることも可能
使用状況データ	システムへのアクセス頻度を CSV データでダウンロードできます。
監査設定	ユーザーのアクセス頻度や最終ログイン日時などを CSV データでダウンロードできます。

◆ サポート ZIP の作成手順

サポート情報にログファイルを含める場合は、「サポート ZIP にログファイルを含める」をオン  にします。ログファイルのリストから必要なファイルを選択し「サポート情報のダウンロード」をクリックします。

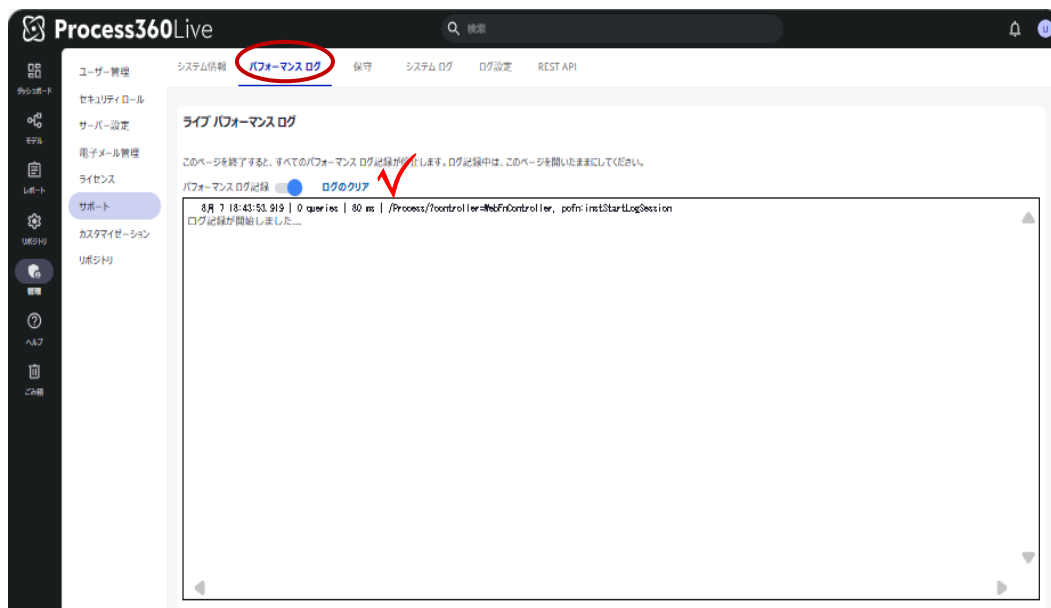


7.2 パフォーマンスログ

サーバーの応答時間が遅い際などに、パフォーマンスログを記録しパフォーマンスのボトルネックの特定に使用します。

パフォーマンスログ記録をオン ☒ にすることでパフォーマンスのログを取得できます。

ログ記録中はページを開いたままにしておく必要があります。



7.3 保守

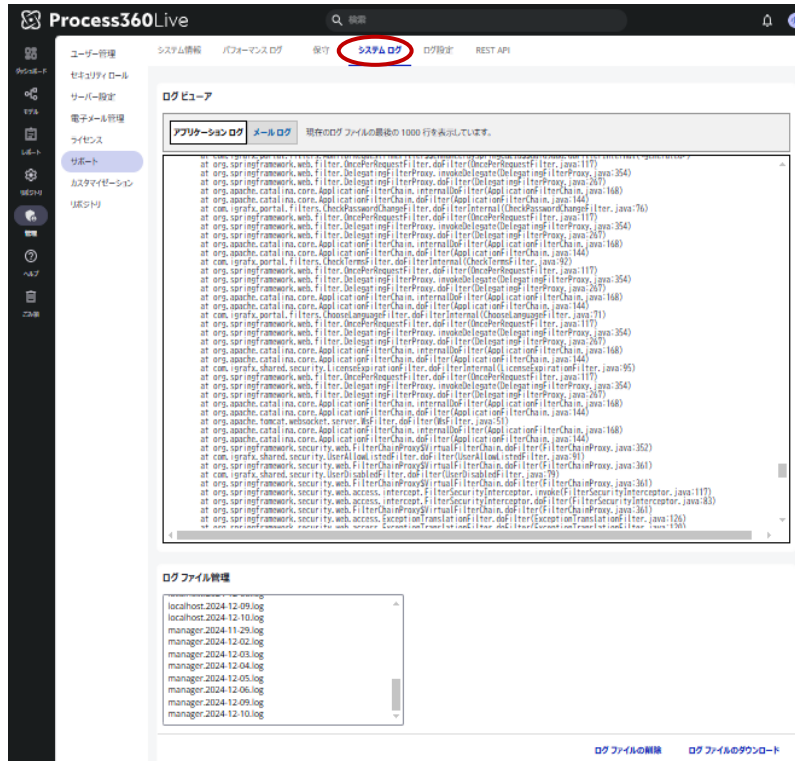
設定を変更した際のキャッシュのクリアやデータベースの最適化、分析に使用します。



項目	説明
システムキャッシュ	カスタマイゼーションファイルやテーマファイルを変更した際のキャッシュをクリアに使用します。
カスタムプロパティ	カスタムプロパティデータベーステーブルを最適化し未使用行の削除に使用します。
分析と修正	データベースを分析し、問題があった際にはオプションで修正を行います。

7.4 システムログ

システムログの閲覧や管理を行います。



項目	説明
ログビューア	アプリケーションとメールのログを最後の 1000 行表示します。
ログファイルの管理	日付ごとのログファイルを選択し削除やダウンロードを行います。

7.5 ログ設定

取得するログの情報を設定します。



項目	説明
ログ設定	取得するログレベルを設定できます。
ロールオーバーの設定	ログのロールオーバーの条件をログファイルのサイズと時間で設定できます。
ログクラス	取得するログのクラスをすべてまたは任意のクラスを選択し設定できます。

7.6 REST API

APIの有効化やアクセス許可の設定を行います。



8. カスタマイゼーション

サーバー全体の外観や、リンク、チャートの配色、ユーザー名の表示方法の設定を行うことができます。

「管理」-「カスタマイゼーション」をクリックします。

8.1 外観

画面の配色と画面左上に表示するロゴのサーバー単位のデフォルト設定を行います。

「外観」タブをクリックします。

① 外観の色（グローバルテーマ）を変更できます。通知メールにも設定した色が適用されます。

② グローバルナビゲーションバーロゴを変更できます。

※グローバルナビゲーションバーロゴをクリックすると、サーバー設定の「デフォルトのランディングページ」で指定した画面を表示します。

③ ログイン画面に表示するログインロゴを変更できます。

The screenshot shows the '外観' (Appearance) settings page in Process360 Live. The page is divided into sections for 'テーマ' (Theme), 'ナビゲーションバーロゴ' (Navigation Bar Logo), and 'ログインロゴ' (Login Logo). A color palette is shown for the theme, and a preview of the navigation bar and login screen is displayed below. Red arrows indicate the flow from the '外観' tab to the theme selection, then to the navigation bar logo, and finally to the login logo.

テーマ (Theme)

プラットフォームで使用するグローバルテーマを選択します。

<Custom> Green Pink
Blue Grey Purple
Brown Indigo Red
Cyan Lime Teal
Default Orange

ナビゲーションバーロゴ (Navigation Bar Logo)

独自のロゴをアップロードするには、右からファイルシステムから画像ファイルを選択します。画像の幅が 32 ピクセルを超える場合は、縮小されます。最良の結果を得るには、アップロードの前に画像のサイズを変更してください。

現在のグローバルナビゲーションバーロゴ (デフォルト: 002)

ログインロゴ (Login Logo)

独自のロゴをアップロードするには、右からファイルシステムから画像ファイルを選択します。画像の幅が 32 ピクセルを超える場合は、縮小されます。最良の結果を得るには、アップロードの前に画像のサイズを変更してください。

現在のログインロゴ (デフォルト: 002)

Process360Live

ユーザー名
パスワード
☐ 次回のログインを記憶
ログイン

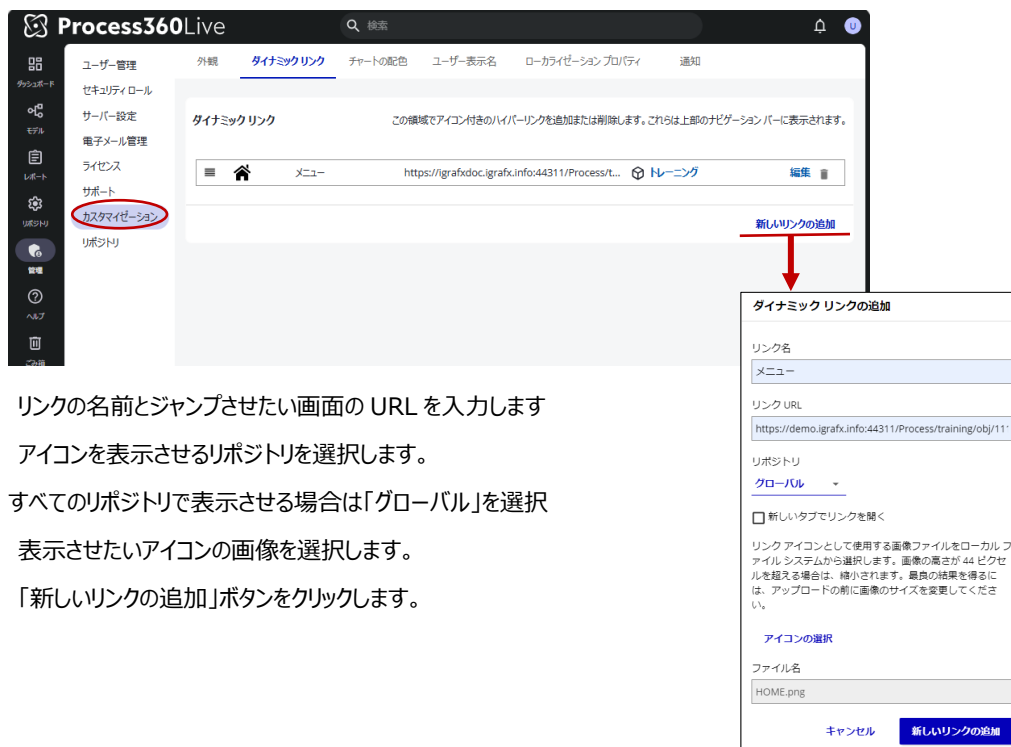
8.2 ダイナミックリンク

ナビゲーションバーにアイコンを追加して、リポジトリ毎に任意のページへジャンプするよう設定できます。



「クイックリンク」アイコンをクリックして選択します。

- ① 「新しいリンクの追加」ボタンをクリックします。



- ② リンクの名前とジャンプさせたい画面の URL を入力します
- ③ アイコンを表示させるリポジトリを選択します。
すべてのリポジトリで表示させる場合は「グローバル」を選択
- ④ 表示させたいアイコンの画像を選択します。
- ⑤ 「新しいリンクの追加」ボタンをクリックします。

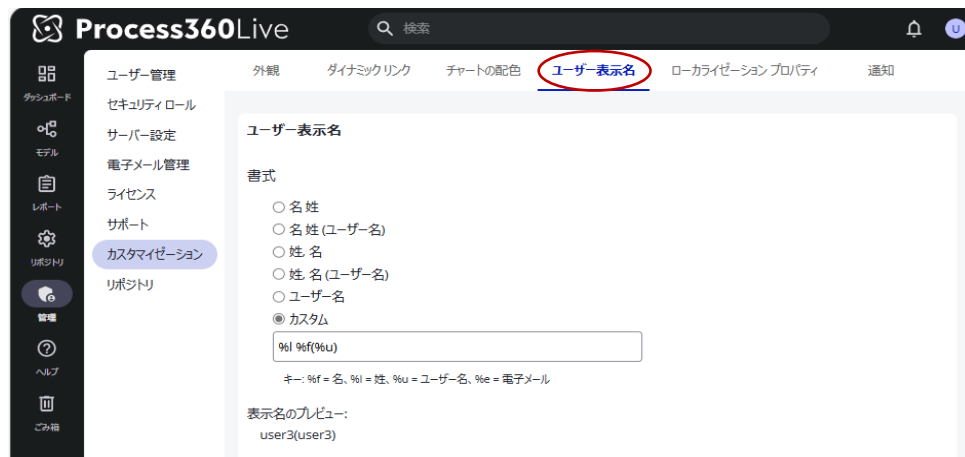
8.3 ユーザー表示名

ユーザー名の姓と名の表示方法を設定します。

「ユーザー表示名」タブをクリックし、表示方式を選択します。

※「カスタム」を指定した場合は、差込文字を組み合わせて任意の表示方法を指定することができます。

- %f 「名(first name)」を表示します
- %l 「姓(last name)」を表示します
- %u 「ユーザー名(user name)」を表示します
- %e 「電子メール(e-mail)」を表示します



8.4 通知

リポトリツリーで変更通知のインジケータを表示させるか否かを設定できます。

「通知」タブをクリックします。

インジケータを表示させる場合、「リポトリツリーで変更アイコンを有効にする」をオンにします。

※デフォルトはオンです。



9. リポジトリ

Process Design には、目的別に複数のリポジトリを登録することができ、それぞれのリポジトリ内にフォルダやファイルなどのリポジトリ項目を格納し管理します。

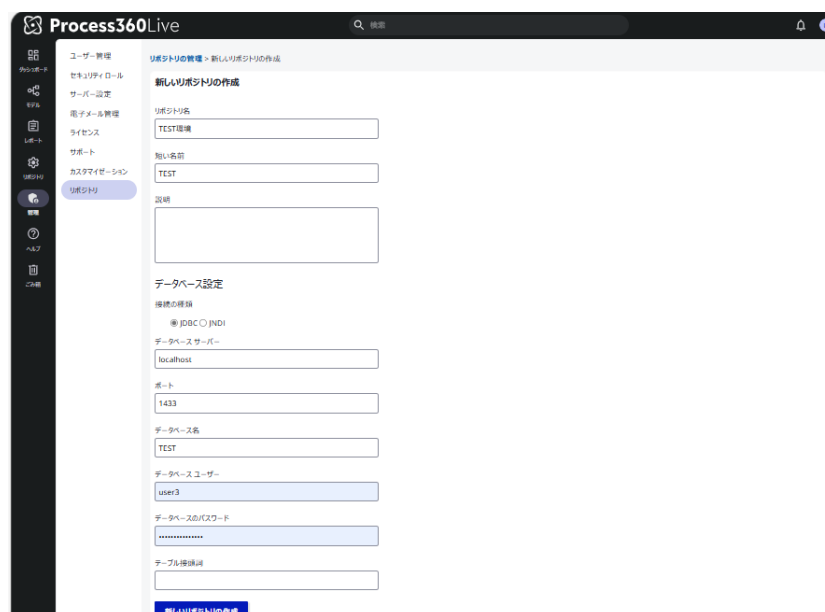
9.1 リポジトリの登録

以下の手順で、リポジトリを登録することができます。

- ① 「管理」-「リポジトリ」オプションをクリックします。
- ② 「新しいリポジトリの作成」ボタンをクリックします。



- ③ 新しいリポジトリの作成画面で各欄に情報を登録し、「新しいリポジトリの作成」ボタンをクリックします。

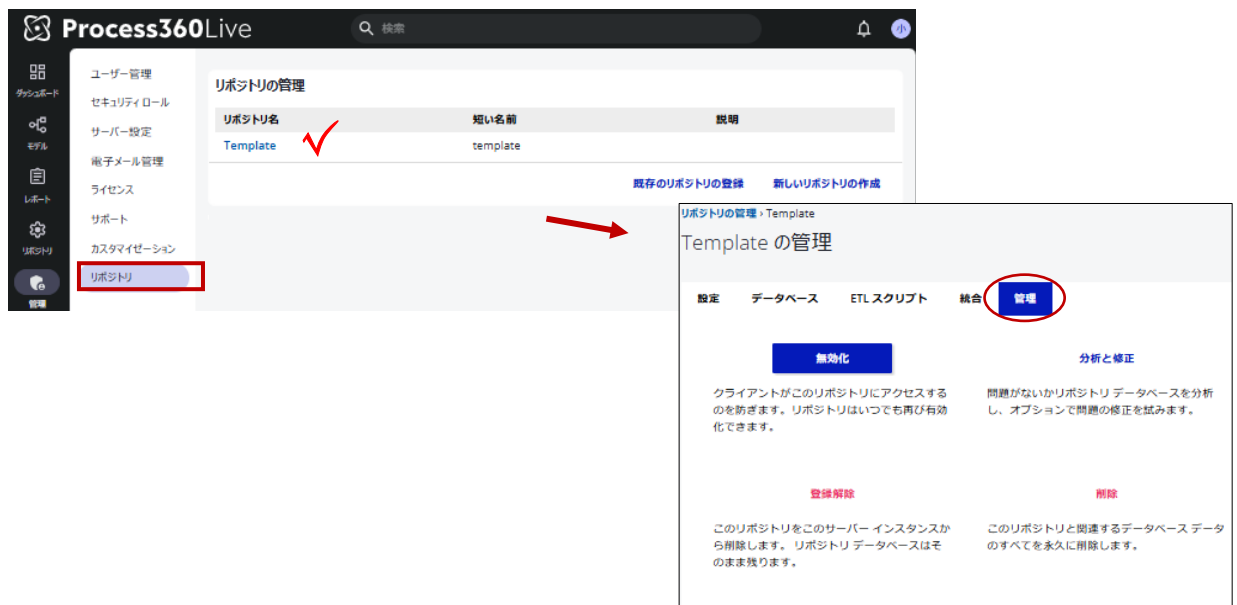


メニュー	説明
リポジトリ名	リポジトリの表示名を設定します。
短い名前	URL で使用される短いリポジトリ名を英数字列で設定します。
説明	リポジトリの説明を入力します。
接続の種類	データベースへの接続方法を設定します。
データベースの種類	データベースの種類を設定します。(Microsoft SQL Server)
データベースサーバー	データベースのホスト名とインスタンス名を設定します。 例) server-name/instance-name
ポート	データベースへの接続に使用するポート番号を設定します。
データベース名	データベース名を設定します。
データベースユーザー	データベース接続に使用するデータベースユーザー名を設定します。
データベースのパスワード	データベース接続に使用するデータベースユーザーのパスワードを設定します。
テーブル接頭詞	1つのデータベース内に複数のリポジトリを作成する場合、リポジトリ毎に一意的接頭詞を設定します。

9.2 リポジトリの管理

以下の手順で、登録されているリポジトリを管理することができます。

- ① 「管理」-「リポジトリ」オプションをクリックします。
- ② 設定したいリポジトリ名をクリックします。



③ 「管理」タブをクリックします。

④ 適用したいオプションのボタンをクリックします。

※バージョンアップ時などに「図表のキャッシュの更新」ボタンが表示される場合がありますがクリックしないでください。ボタンをクリックすると全図表を更新するため処理に大きな時間を要します。

第3章 リポジトリ設定

「サイドメニュー」の「リポジトリ設定」セクションで、Process Design のリポジトリレベルでの各種設定を行うことができます。「リポジトリ設定」セクションは、リポジトリロールで管理者権限（「リポジトリの管理」許可）が割り当てられているユーザーのみ表示されます。

1. カスタムプロパティ

カスタムプロパティを使用すると、リポジトリ項目や図表内の図形要素に対して独自のプロパティを持たせることができます。カスタムプロパティはレポート機能で一覧表示することができます。

カスタムプロパティの管理は、リポジトリロールの「カスタムプロパティの管理」許可が必要です。

1.1 カスタムプロパティの登録

以下の手順で、カスタムプロパティを新規に登録することができます。

- ① 「リポジトリ設定」-「カスタムプロパティ」オプションをクリックします。
- ② 「新しいプロパティの作成」ボタンをクリックします。



- ③ 新しいプロパティの作成画面で、「基本設定」欄の各項目に入力を行います。

新しいプロパティの作成

基本設定

表示名

プロパティ名

説明

プロパティの種類
種類の選択 ▼

→ プロパティに表示する項目名を入力します。（必須）

→ レポート作成時にプロパティを一意に認識するための英数文字列を指定します。（必須）

→ 必要に応じ、説明を入力します。

→ 入力形式を選択します。（必須）

プロパティの種類は以下の通りです。

項目	説明
テキスト	テキストの表示形式を選択、制限文字数を設定します。
リッチテキスト	リッチテキストを設定します。
数値	数値の種類を選択します。
日付	日付を設定します。
日付と時刻	日付と時間を設定します。
期間	期間を設定します。
距離	距離を設定します。
True/False	True/False を設定します。
選択リスト	選択の種類を選択、選択値を設定します。
リポジトリのリレーション	リレーションの種類を選択します。
Percent	Percent を設定します。

- 選択リスト

選択の種類を選択、選択値を設定します。

選択値の入力は、「オプションの追加」ボタンをクリックし、ラベル、ID を入力して「オプションの追加」ボタンをクリックします。

④ 「使用可能」欄へ登録するカスタムプロパティを適用する範囲を指定して、「プロパティの作成」ボタンをクリックします。

- リポジトリオブジェクト

リポジトリツリーに表示されるリポジトリ項目に対してプロパティを作成します。

デフォルトではすべての種類のオブジェクトに対してプロパティが有効となります。

必要に応じて「種類でリポジトリオブジェクトを制限する」をクリックして、特定の種類の項目のみプロパティを有効にする設定を行います。

「表示欄」で可視性を選択します。

チェックイン時の制限を設定します。

チェック項目名	説明
チェックイン時に値を提示	チェックイン時に該当のカスタムプロパティを提示します。
以前のバージョンからの値で初期化する	前回チェックイン時に入力した値が入った状態で提示します。
値を空にすることはできません	該当のカスタムプロパティを必須入力とします。

- 図表要素

FlowCharter 等の Desktop Client ツールで作成した図表内の図形要素に対してプロパティを作成します。

デフォルトではすべての種類の BPMN 図形に対してプロパティが有効となります。

必要に応じて「種類で図表要素を制限する」をクリックして、特定の種類の BPMN 図形にのみプロパティを有効にする設定を行います。

1.2 編集

次の手順で登録済みのカスタムプロパティを編集します。

- ① カスタムプロパティのユーザー一覧から編集したいカスタムプロパティの ▾ アイコンをクリックします。
- ② 「編集」ボタンをクリックします。


- ③ プロパティの編集画面で必要な修正を行い、**プロパティの作成** ボタンをクリックします。

1.3 並べ替え

次の手順で登録済みのカスタムプロパティを並べ替えます。

- ① カスタムプロパティのユーザー一覧で、「並べ替え」ボタンをクリックします。



- ② カスタムプロパティの右にある  アイコンをクリックして上下にドラッグし、適切な場所でドロップします。
- ③ 「並べ替え」ボタンをクリックして並べ替えを終了します。



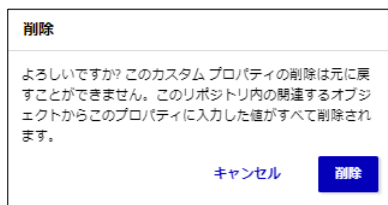
1.4 削除

次の手順で登録済みのカスタムプロパティを削除します。

- ① カスタムプロパティのユーザー一覧から編集したいカスタムプロパティの ▾ アイコンをクリックします。
- ② 「削除」ボタンをクリックします。



確認画面で、「削除」ボタンをクリックします。



2. リポトリの方針

オブジェクトやドキュメントをチェックインする際に下記項目におけるルールを設定することができます。

「リポトリ設定」-「方針」オプションをクリックします。

2.1 バージョンの方針

「バージョンの方針」タブをクリックします。

Process360Live

検索

カスタム プロパティ バージョンの方針 セキュリティの方針 非表示のルート オブジェクト

方針

電子メール通知
サイクル グループ
リソース
リスク
コントロール
業績評価指標
ジャーニー
機能
機会
カスタマイゼーション
プロパティ
高橋
詳細

Template バージョンの方針

バージョン番号設定

バージョン番号の部分の数

☒ 1 (1)
☐ 2 (1.0)
☐ 3 (1.0.0)

モデル

☒ 同表の最新の表示可能バージョンのためにライブデータを常に表示する

☒ 作成する前に、Architect If Web ベースの同表で同表ベースの記述関係を受け入れる必要がある

以下の時点で、同表ベースの記述関係を作成し、記述されたオブジェクトを承認する (Web ベースの同表を Architect が受け入れた後)

☒ 同表のチェックイン
☐ 同表を現在の承認バージョンに指定

採集されたオブジェクト案件
 オブジェクトを採集するときに、選択した条件がユーザーに表示されます。

[案件の選択](#)

コメント

以下の場合にコメントを必要とする

☐ KIX ドキュメントと外部ファイルを追加しています
☐ オブジェクトのチェックイン中
☐ オブジェクトの検封中
☐ オブジェクトの承認中
☒ 進行中のサイクルのキャンセル中
☒ 確認サイクルの一時的停止中
☒ 確認サイクルの再開中

承認時のコメント

☒ 常に不要
☐ 常に必要
☐ [いいえ] に投票したときのみ必要

デフォルトの管理所有者

新しいオブジェクトやコピーしたオブジェクトのデフォルトの管理所有者を設定する

☒ 新しいオブジェクトの所有者はそのオブジェクトの作成者です
☐ 新しいオブジェクトの所有者は特定のユーザーです

デジタル署名

☐ 検封 / 承認 / 承認するときにデジタル署名を要求する
☐ デジタル署名するときに Windows パスワードを要求する

署名スタートメント

私、%SIGNER% は、指定のドキュメントの承認を完了しました。このアクションに署名するかどうかについて、私は「%VOTE%」と意思表示します。

このデジタル署名の一部の法域では法的拘束力を持つことを私は

%SIGNER% と %VOTE% は、ダイナミック テキスト プレースホルダーです
[デフォルトにリセット](#)

項目	説明
バージョン番号設定	バージョン番号の桁数を設定します。
モデル	<p>Architect ユーザーが作成したエンタープライズオブジェクトを、Designer ユーザーがオブジェクトと図形の紐づけやオブジェクトの作成を提案する際の動作を設定します。</p> <p>作成する前に、Architect が Web ベースの図表で図表ベースの記述関係を受け入れる必要がある：チェックを入れると Designer ユーザーが既存のエンタープライズオブジェクトと図形を紐づける際に Architect ユーザーがその関連付けを「受け入れ」する必要があります。紐づけが確定されるタイミングを「図表のチェックイン」または「図表を現在の承認バージョンに指定」に設定します。</p> <p>提案されたオブジェクト要件： Designer ユーザーがオブジェクトの提案をする際の注意事項を要件として登録します。</p>
コメント	コメント入力を必須にする操作を設定します。
デフォルトの管理所有者	新しいオブジェクトを追加した際の管理所有者を設定します。
デジタル署名	サイクルへのアクションでのデジタル署名を設定します。

◆ コメントを必要とする（入力必須にする）

（例）「進行中のサイクルのキャンセル」にチェックが入っている

→承認サイクルをキャンセルすると、理由の入力をしないとサイクルの終了ができません。

サイクルの終了

サイクルは現在進行中です。キャンセルしますか?

理由

理由が必要です。

キャンセル サイクルの終了

◆ デフォルトの管理所有者

初期設定では、作成者がオブジェクトを登録すると管理者権限を持っていないユーザーであっても、登録したオブジェクトのみ管理者権限が付与されオブジェクトの管理所有者となります。

「新しいオブジェクトの所有者は特定のユーザーです」をクリックすると特定のユーザーを管理所有者に設定できます。

新しいデフォルトの所有者を選択する

山田, 新太郎

デフォルトの管理所有者

新しいオブジェクトやコピーしたオブジェクトのデフォルトの管理所有者を設定する

○ 新しいオブジェクトの所有者はそのオブジェクトの作成者です

● 新しいオブジェクトの所有者は特定のユーザーです 山田, 新太郎

キャンセル 選択内容の確認

2.2 セキュリティの方針

「セキュリティの方針」タブをクリックします。

Windows クライアントが接続パスワードを記憶することを許可するかどうかを指定します。

自社グループのセキュリティポリシーに従い設定してください。



2.3 非表示のルートオブジェクト

企業オブジェクトの表示・非表示を設定します。

- ① 「非表示のルートオブジェクト」タブをクリックします。
- ② 非表示にする企業オブジェクトを選択します。
- ③ 「確認」ボタンをクリックします。



チェックを入れた企業オブジェクトは非表示になります。



3. サイクルグループ

サイクル実施に必要なグループを作成・管理することができます。

◆ Process Design の「グループ」タイプ

➤ サイクルグループ

リポジトリ ドキュメントを検討、承認、追認、確認するためのユーザー、サイクルグループ、およびユーザーグループの集まり。

- カスタムサイクルグループ：個々のリポジトリドキュメントに対して定義されたサイクルグループ
- 名前付きサイクルグループ：リポジトリの設定領域に保存されたサイクルグループ

➤ ユーザーグループ

メニュー「サーバー管理」-「ユーザー管理」ページに保存された Process Design ユーザーの集まり。

ロールとライセンスの割り当てに使用します。詳細については、「グループの登録」(P8～) を参照してください。

3.1 サイクルグループの新規作成

下記の手順で、リポジトリごとの名前付きサイクルグループを作成します。

- ① タブ「グループ」画面の「サイクルグループの作成」ボタンをクリックします。



- ② 「グループ名」に作成するサイクルグループの名前を入力します。

サイクルグループの作成

キャンセル **サイクルグループの作成**

グループ名

空のユーザーグループ (自動的に完了となります)

ユーザー / グループの追加 サブグループの追加

キャンセル **サイクルグループの作成**

- ③ 「ユーザー/グループの追加」ボタンをクリックします。

サイクルグループの作成

キャンセル サイクルグループの作成

グループ名
承認グループA

空のユーザーグループ (自動的に完了となります) ▼

ユーザー / グループの追加 サブグループの追加

キャンセル サイクルグループの作成

- ④ 検索ボタンをクリックし、サイクルグループに割り当てするユーザーまたはグループを検索して選択します。
または検索ボックスに入力してユーザーまたはグループを抽出・選択します。




ユーザーとサイクルグループを 承認グループA に追加

検索

☐ 小玉,
☒ 山田, 新太郎
☐ 承認グループ
☐ 承認グループC
☐ 安社員,
☐ 本社
☒ 松本
☐ 社員,

山田, 新太郎 × 松本 ×

キャンセル 選択内容の確認

 ユーザーをあらわします
 グループをあらわします
 サイクルグループをあらわします

- ⑤ 「選択内容の確認」ボタンをクリックします。




サイクルグループの編集

キャンセル 変更の保存

承認グループA

すべてのメンバーがアクションを完了する必要があります (順序は問いません) ▼

ユーザー / グループの追加 サブグループの追加

 安社員, (shisyatyō) - ローカル
 山田, 新太郎 (user100) - ローカル
 坂口, 健次郎 (user102) - ローカル

キャンセル 変更の保存

- ⑥ 「サイクルグループの作成」ボタンをクリックして完了します。

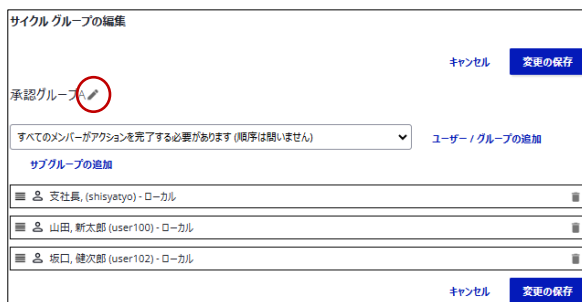
3.2 サイクルグループのユーザーまたはグループの変更

下記の手順で、既存の名前付きサイクルグループを変更します。

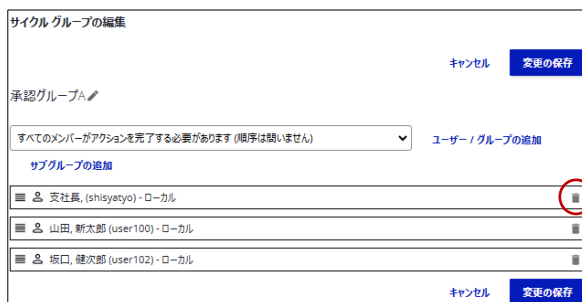
- ① 編集したサイクルグループをクリックして展開し、「編集」ボタンをクリックします。
「削除」ボタンをクリックすると、名前付きサイクルグループを削除できます。



- ② サイクルグループ名を変更する場合は、編集ボタンをクリックします。入力後に「変更の保存」ボタンをクリックします。



- ③ サイクルグループのユーザーまたはグループの割り当てを解除するには、ごみ箱アイコンをクリックします。



- ④ サイクルグループにユーザーまたはグループの割り当てを追加するには、「ユーザー/グループの追加」ボタンをクリックしてユーザーまた

はグループを選択します。

- ⑤ 変更が終わったら、「変更の保存」ボタンをクリックします。

3.3 サイクルグループ完了要件の指定

定義された各サイクルグループは、サイクルグループ内のユーザーとグループがサイクル内のアクティビティを完了する方法に関する要件を指定することもできます。完了要件の設定数は、サイクルグループ内のユーザー数によって異なります。

- ① 2人以上のユーザーまたはグループをサイクルグループに割り当てた場合、ドロップダウンからサイクル完了条件を選択します。

項目	説明
すべてのメンバーがアクションを完了する必要があります (順序は問いません)	サイクルを完了するためにはサイクルグループを構成するすべてのメンバーとグループがアクション(検討・承認・追認)を完了する必要があります。 小規模なサイクルグループには有効ですが、サイクルグループが大きくなると、参加者全員が短時間でサイクルを完了させることが難しくなります。
すべてのメンバーがこの順序でアクションを完了する必要があります	ユーザーとグループが指定されている順序でサイクルアクションを完了する必要があります。 管理階層のようにグループ内の役割が階層化されている場合に便利です。(例：係長→課長→部長) このオプションを選択すると、誰かが当該文書を拒否した場合、残りの順番の人はアクション(検討、承認、追認)を実行する必要はありません。
n人(総人数中)がこのアクションを完了する必要があります	指定した数のユーザーまたはグループがサイクルアクションの完了する必要があります。(例：1人(3人中)、2人(3人中)) サイクルアクションを十分に完了できる大きなグループの一部を指定することによって、サイクルグループ内のユーザーとグループのセットにある程度の柔軟性を持たせることができます。

- ② ユーザーのサイクルへのアクション順序を変更するには、ユーザー名をドラッグアンドドロップします。

- ③ 変更が終わったら、「変更の保存」ボタンをクリックします。

※確認サイクルではサイクルグループを使用することもできますが、サイクルの開始時に全参加者が集められ、各メンバーは1回だけ「確認」

アクションを行います。(複数の包含グループに表示されている場合でも)グループ完了要件は、確認サイクルには適用されません。

※サイクルグループのメンバーにユーザー管理の「グループ」(P8)を指定した場合、グループに属しているユーザー全員がアクションを完了する必要があります。グループに属しているユーザー数に関わらず、グループで「1」になります。

例えば上記のサイクルグループで承認サイクルを開始した場合、大阪グループに所属のユーザー（佐藤さん・坂口さん）と山田さんの合計3人が「承認」に投票する必要があります。大阪グループ所属ユーザー（佐藤さん）と営業グループ所属ユーザー（田中さん）が「承認」に投票しても「承認完了」にはなりません。

グループ内で完了要件を指定する場合は、次章の「サブグループ」を使用します。

3.4 サブグループの追加

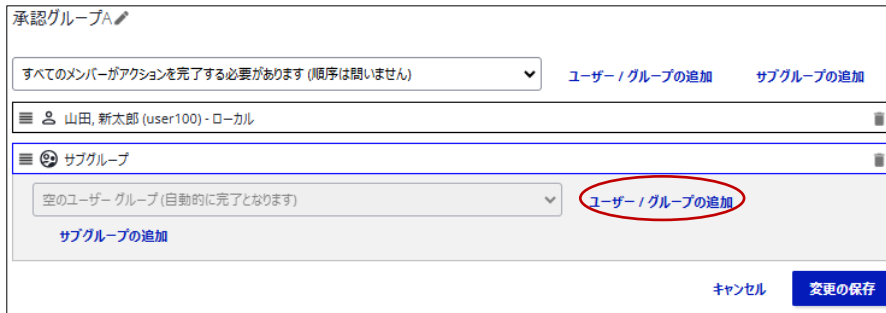
サイクルグループに複数のサブグループを追加し、それぞれに完了条件を設定することができます。この機能により、サイクルアクションに複雑な完了要件を設定してサイクル完了の柔軟性を高めることができます。例えば、以下のようなことが可能です。

- ・部門ごとにサブグループを作成し、一人のメンバーがその部門のアクションを確認または拒否することができます。
- ・すべてのメンバーがサイクルアクションを実行する必要があるサブグループと、1人または2人のメンバーのみが実行する必要があるサブグループを結合します。
- ・特定の順序でアクションを完了する必要があるサブグループを結合し、並行してそれを行うことで時間短縮できます。
- ・サブグループの中にサブグループを作成し、非常に複雑なサイクルシナリオを作成することができます。

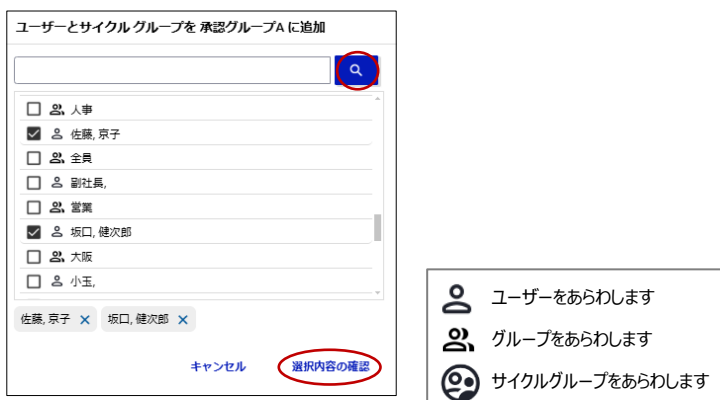
下記の手順で、サブグループを作成します。

- ① 新規作成の場合は「サイクルグループの作成」ボタン、既存のサイクルグループを編集する場合は「編集」ボタンより画面を開いて、「サブグループの追加」ボタンをクリックします。

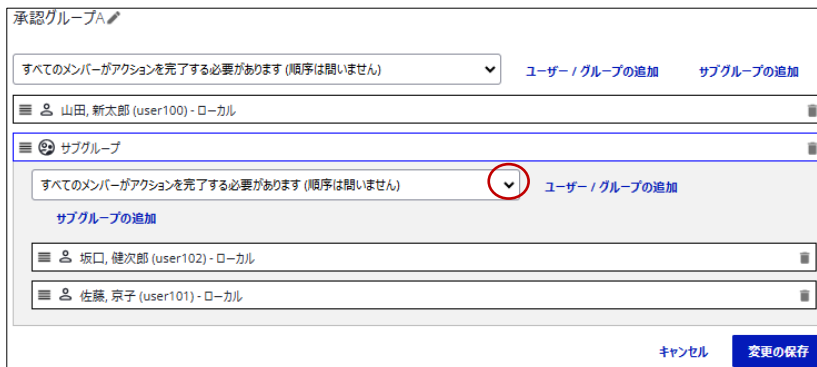
- ② サブグループ内にある「ユーザ/グループの追加」ボタンをクリックします。



- ③ 検索ボタンをクリックし、サブグループに割り当てるユーザーまたはグループを検索して選択します。
または検索ボックスに入力してユーザーまたはグループを抽出・選択します。



- ④ **選択内容の確認** ボタンをクリックします。



- ⑤ サブグループのサイクル完了条件を選択します。必要に応じてアクションの順序を変更します。

- ⑥ 「サイクルグループの作成」または「変更の保存」ボタンをクリックします。

上記の場合、例えば坂口さんが「承認」すれば山田さんに承認依頼が回ります。佐藤さんの「承認」は不要になります。

- ⑦ サブグループの編集・削除は、サイクルグループのユーザーまたはグループの変更と同じ手順です。

3.5 デフォルトのサイクルグループ

Process Design では、あらかじめデフォルトのサイクルグループ（検討、承認、追認、確認）がリポジトリごとに用意されています。初期設定では、リポジトリを作成したユーザーがメンバーに設定されており、サイクルユーザーを作成できる権限をもつユーザーが編集することができます。

- ・カスタムサイクルグループの作成権限が無い（個々のリポジトリ項目に対してサイクルごとに検討者、承認者、追認者、確認者を設定できない）ユーザーがサイクルを開始した場合には、あらかじめ設定されたサイクルグループもしくはリポジトリ項目に対して一つ前のサイクルで指定されたカスタムサイクルグループが自動的に適用されます。
- ・サイクルグループが設定されていない（またはサイクルが一度も開始されていない）場合には、デフォルトのサイクルグループが適用されます。
- ・デフォルトのサイクルグループは削除できません。

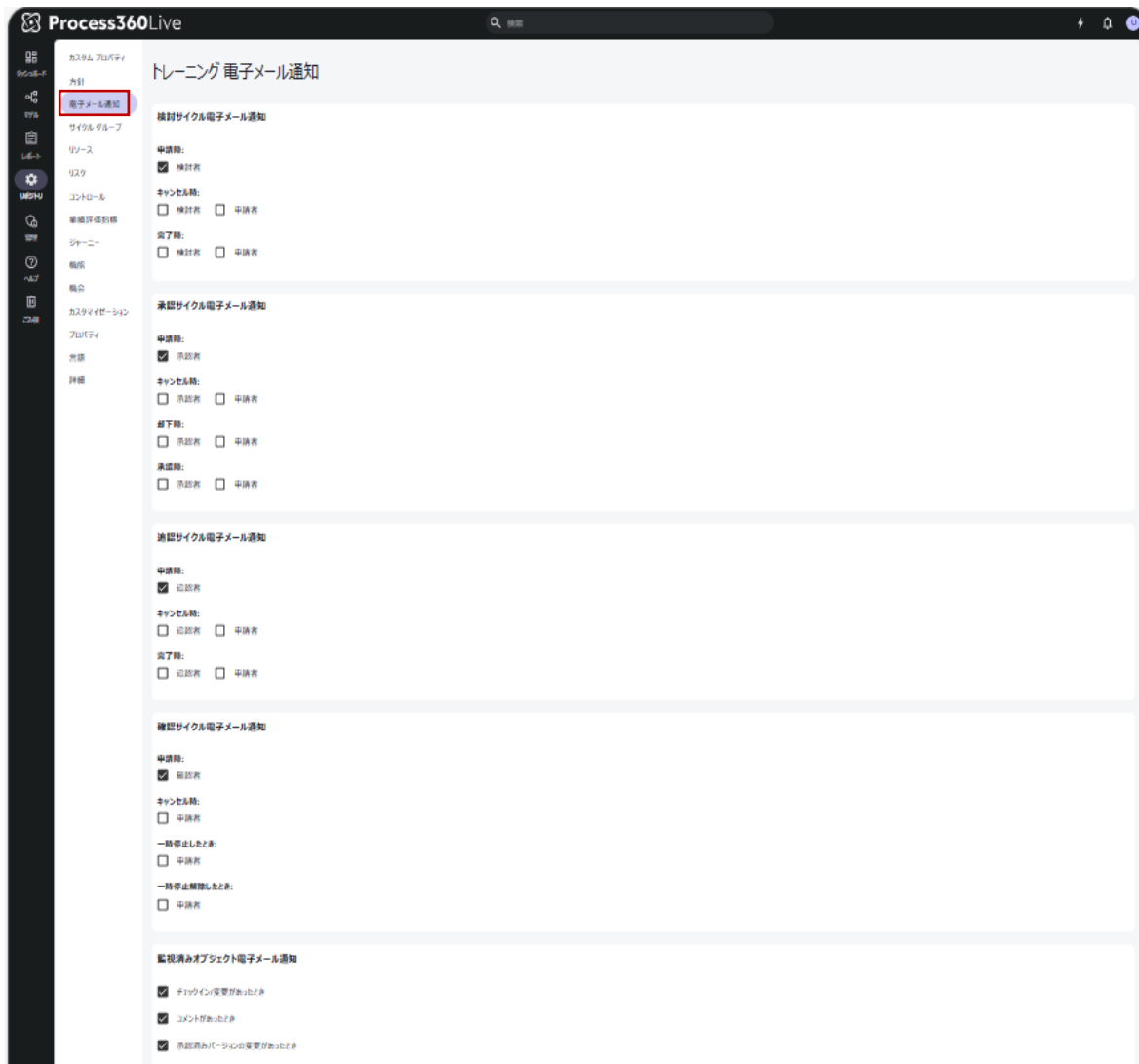
4. 電子メール通知（サイクル管理・コメント）

サイクル管理や監視対象のオブジェクトに対して、どのアクションに対して通知するかを設定を行います。

「リポトリ設定」-「電子メール」オプションをクリックします

通知したいアクションに対してチェックをいれます。

※この設定は、電子メール管理で、電子メール通知が有効にされていることが前提になります。



項目	説明
検討サイクル電子メール通知	<p>申請時：「検討者」へのメール通知の有無を設定します。</p>  <p>キャンセル時：「申請者」「検討者」へのメール通知の有無を設定します。</p>  <p>完了時：「申請者」「検討者」へのメール通知の有無を設定します。</p> 
承認サイクル電子メール通知	<p>申請時：「承認者」へのメール通知の有無を設定します。</p>  <p>キャンセル時：「申請者」「承認者」へのメール通知の有無を設定します。</p>  <p>却下時：「申請者」「承認者」へのメール通知の有無を設定します。</p>  <p>承認時：「申請者」「承認者」へのメール通知の有無を設定します。</p> 

<p>追認サイクル電子メール通知</p>	<p>申請時：「追認者」へのメール通知の有無を設定します。</p> <div data-bbox="555 286 866 472"> <p>次の項目を埋めたことを示すために、サインオフしてください。</p> <p>Traning > 00.業務可視化 > 0.メニュー > 0000.プロセスメニュー.igx</p> <p>承認申請は tokui が開始しました。</p> <p>iGrafx デスクトップクライアントで開く</p> <p>ブラウザで開く ></p> </div> <p>キャンセル時：「申請者」「追認者」へのメール通知の有無を設定します。</p> <div data-bbox="555 510 866 696"> <p>tokui は次の項目の追認サイクルをキャンセルしました。</p> <p>Traning > 00.業務可視化 > 0.メニュー > 0000.プロセスメニュー.igx</p> <p>iGrafx デスクトップクライアントで開く</p> <p>理由: "一部修正ありのため。"</p> <p>ブラウザで開く ></p> </div> <p>完了時：「申請者」「追認者」へのメール通知の有無を設定します。</p> <div data-bbox="555 734 866 898"> <p>次の項目の追認サイクルが完了しました。</p> <p>Traning > 00.業務可視化 > 0.メニュー > 0000.プロセスメニュー.igx</p> <p>iGrafx デスクトップクライアントで開く</p> <p>ブラウザで開く ></p> </div>
<p>確認サイクル電子メール通知</p>	<p>申請時：「確認者」へのメール通知の有無を設定します。</p> <div data-bbox="555 947 882 1133"> <p>以下の操作を行って、次の項目をチェックして確認したことを確認してください。</p> <p>2023-06-04:</p> <p>Traning > 00.業務可視化 > 0.メニュー > 0000.プロセスメニュー.igx</p> <p>承認申請は tokui が開始しました。</p> <p>iGrafx デスクトップクライアントで開く</p> <p>ブラウザで開く ></p> </div> <p>キャンセル時：「申請者」へのメール通知の有無を設定します。</p> <div data-bbox="555 1171 866 1357"> <p>tokui は次の項目の確認サイクルをキャンセルしました。</p> <p>Traning > 00.業務可視化 > 0.メニュー > 0000.プロセスメニュー.igx</p> <p>iGrafx デスクトップクライアントで開く</p> <p>理由: "一部修正ありのため。"</p> <p>ブラウザで開く ></p> </div> <p>一時停止した時：「申請者」へのメール通知の有無を設定します。</p> <div data-bbox="555 1395 866 1581"> <p>tokui は次の項目の確認サイクルを一時停止しました。</p> <p>Traning > 00.業務可視化 > 0.メニュー > 0000.プロセスメニュー.igx</p> <p>iGrafx デスクトップクライアントで開く</p> <p>理由: "一部修正ありのため。"</p> <p>ブラウザで開く ></p> </div> <p>一時停止解除した時：「申請者」へのメール通知の有無を設定します。</p> <div data-bbox="555 1619 866 1805"> <p>tokui は次の項目の確認サイクルを一時停止解除しました。</p> <p>Traning > 00.業務可視化 > 0.メニュー > 0000.プロセスメニュー.igx</p> <p>iGrafx デスクトップクライアントで開く</p> <p>理由: "修正が完了したため。"</p> <p>ブラウザで開く ></p> </div>
<p>監視済みオブジェクト電子メール通知</p>	<p>監視済みオブジェクトに対してメール通知を行うアクションを設定します。</p>

5. リポトリ単位のカスタマイゼーション

リポトリごとに、画面の配色や、表示するロゴをサーバー単位のデフォルト設定から変更することができます。

「リポトリ設定」-「カスタマイゼーション」オプションをクリックします

- ① 該当リポトリでの、外観の色（グローバルテーマ）を変更できます。
- ② 該当リポトリでの、リポトリナビゲーションバーロゴを変更できます。



6. プロパティ

「モデル」セクションで表示する項目のプロパティの選択を行います。

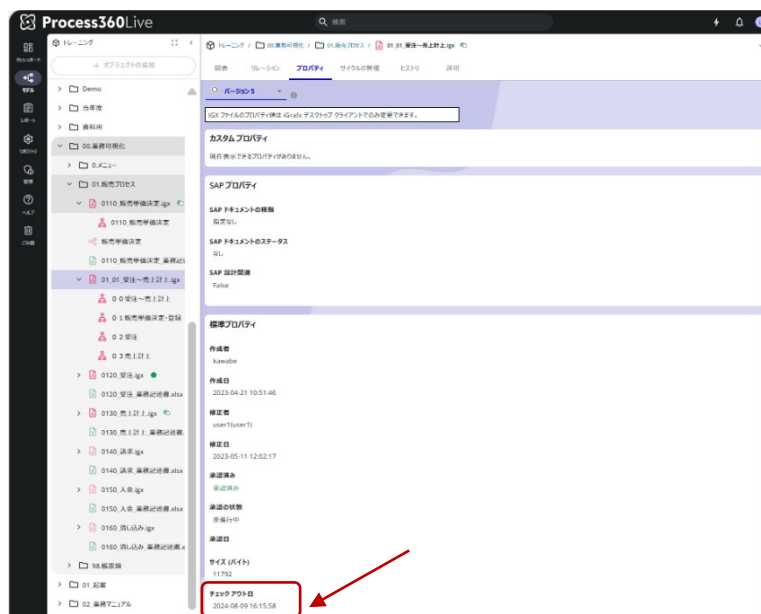
「リポトリ設定」-「プロパティ」オプションをクリックします

「使用可能」欄から追加したいプロパティを選択し、▶ アイコンをクリックします。



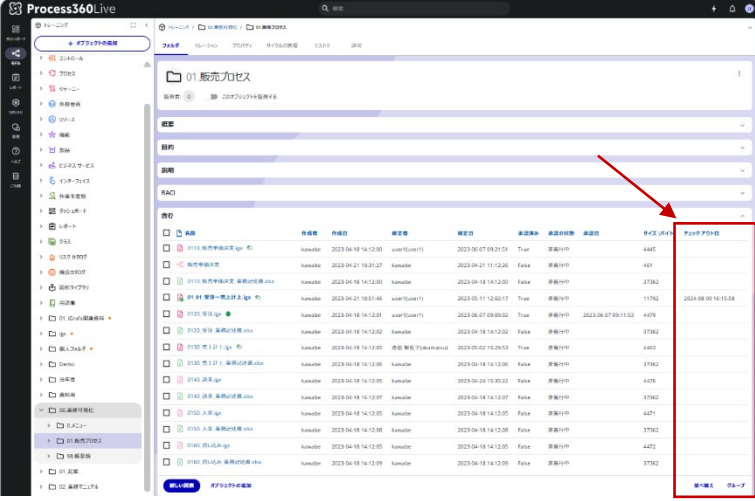
◆ 「「項目のプロパティ」タブで表示」で設定した場合は、項目ごとのプロパティ表示画面に追加します。

ここではプロパティ項目に「チェックアウト日」を追加した場合を表示しています。



◆ 「オブジェクトリストテーブルで表示」で設定した場合は、項目の一覧表示画面に追加します。

Process360 Live Process Design ユーザーズガイド(管理者)



The screenshot displays the Process360 Live Process Design interface. The left sidebar shows a navigation menu with various icons. The main area is titled '01 販売プロセス' (Sales Process). Below the title, there are tabs for '概要' (Overview), '詳細' (Details), and '実行ログ' (Execution Log). The '実行ログ' tab is selected, showing a table of process execution logs. A red arrow points to the '実行ログ' column header, and a red box highlights the '実行ログ' column content.

実行ログ	プロセス名	作成者	更新者	更新日時	承認者	承認日時	実行日時	実行結果	実行ログ
0101 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-05-07 09:21:51	True	2023-05-07 09:21:51	True	成功	4485
0102 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-21 11:13:26	False	2023-04-21 11:13:26	False	失敗	461
0103 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-18 14:13:00	False	2023-04-18 14:13:00	False	失敗	37862
0104 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-05-11 12:00:17	True	2023-05-11 12:00:17	True	成功	11762
0105 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-05-07 09:09:02	True	2023-05-07 09:09:02	True	成功	4479
0106 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-18 14:13:02	False	2023-04-18 14:13:02	False	失敗	37862
0107 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-05-02 15:29:53	True	2023-05-02 15:29:53	True	成功	4483
0108 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-18 14:13:06	False	2023-04-18 14:13:06	False	失敗	37862
0109 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-24 15:30:22	False	2023-04-24 15:30:22	False	失敗	4476
0110 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-18 14:13:07	False	2023-04-18 14:13:07	False	失敗	37862
0111 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-18 14:13:05	False	2023-04-18 14:13:05	False	失敗	4471
0112 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-18 14:13:08	False	2023-04-18 14:13:08	False	失敗	37862
0113 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-18 14:13:05	False	2023-04-18 14:13:05	False	失敗	4472
0114 販売プロセス (log) 中	kanade	2023-04-18 14:13:00	kanade	2023-04-18 14:13:05	False	2023-04-18 14:13:05	False	失敗	37862

7. 言語

リポジトリ毎にコンテンツ言語を追加・設定することができます。

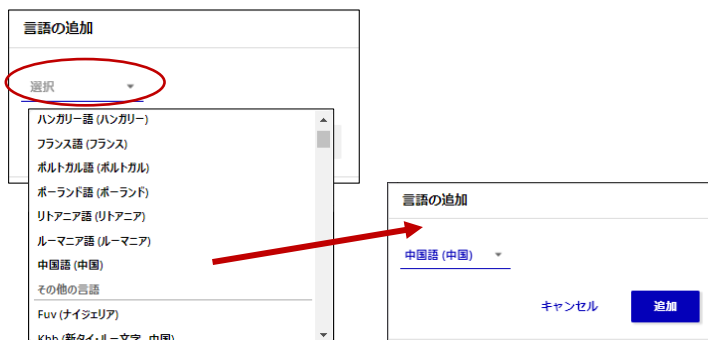
Process Design での UI(ユーザーインターフェイス)言語は、日本語、英語、イタリア語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、ポーランド語、中国語、クロアチア語、チェコ語、ハンガリー語、リトアニア語、ルーマニア語、ポルトガル語、スウェーデン語、トルコ語の 16 言語をサポートしています。さらに Web ダイアグラム、IGX ダイアグラム、オブジェクト名、オブジェクトの概要と目的フィールドで多言語コンテンツをサポートしています。

7.1 言語の追加

- ① 「リポジトリ設定」-「言語」オプションをクリックします
- ② 「追加」ボタンをクリックします。



- ③ 言語名のリストから追加したい言語を選択して、**追加** ボタンをクリックします。



- ④ 言語がリポジトリに追加されると、ログインユーザーアイコンから「言語の変更」をクリックすると言語コントロールが表示されます。



- ⑤ 「言語の表示」をクリックすると言語別の翻訳が登録できます。

入力したい項目言語を選択し、「編集」ボタンをクリックしてダイアログに入力、保存します。

(.xml ファイルにてエクスポート、編集したファイルをインポートします。)



言語をクリックすると切替表示できます。

※フロー図表のテキストオブジェクトはファイルごとに言語翻訳を登録します。

Web 図表の場合→メニュー「表示」-「言語グリッド」

iGrafx ドキュメントの場合→FlowCharter アプリのメニュー「ファイル」-「言語」

7.2 メイン言語の変更


- ① 使用する言語の一覧から、メインに設定したい言語をクリックしてチェックを入れます。
- ② 「メインの設定」ボタンをクリックします。設定された言語名は太字で表示します。

いずれかの言語を1つメインに設定する必要があります。

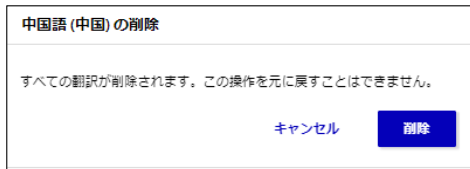


7.3 削除

- ① 使用する言語の一覧から、削除する言語をクリックしてチェックを入れます。
※メインに設定されている言語は削除できません。他の言語を指定して「メインの設定」します。
- ② 「削除」ボタンをクリックします。



確認画面で、**削除** ボタンをクリックします。

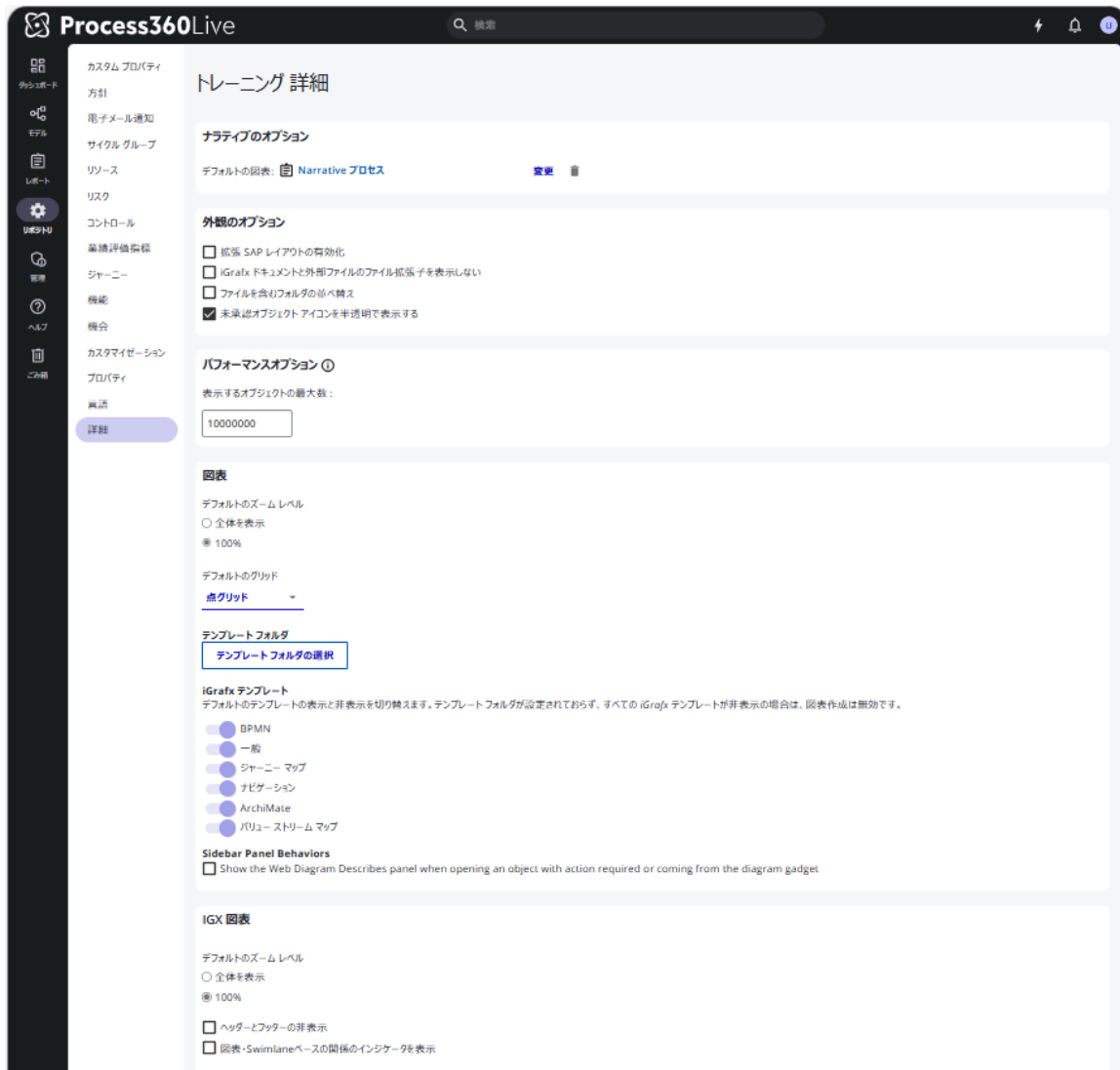


8. 詳細

リポジトリのモデルを表示する際の設定を行います。

「リポジトリ設定」-「詳細」オプションをクリックします

設定したい項目のオプションを選択します。



項目	説明
ナラティブのオプション	デフォルトにする Narrative を設定します。
外観のオプション	<p>拡張 SAP レイアウトの有効化：日本では販売対応しておりません。</p> <p>iGrafx ドキュメントと外部ファイルのファイル拡張子を表示しない：チェックを入れるとファイルを表示する際に、拡張子を表示しません。</p> <p>ファイルを含むフォルダの並べ替え：チェックを入れるとフォルダとファイルを区別せずに並べ替えます。</p> <p>未承認オブジェクト アイコンを半透明で表示する：チェックを入れると未承認のファイルのアイコンが半透明に表示されます。</p>
パフォーマンスオプション	表示するオブジェクトの最大数を設定します。
図表	<p>デフォルトのズームレベル：WebDiagram を最初に表示する際の表示倍率を設定します。</p> <p>テンプレートフォルダ：WebDiagram で使用するテンプレートを登録します。</p> <p>iGrafx テンプレート：デフォルトテンプレートの表示・非表示を設定します。</p>
IGX 図表	<p>デフォルトのズームレベル：図表を最初に表示する際の表示倍率を設定します。</p> <p>ヘッダーとフッターの非表示：チェックを入れると印刷時のヘッダー・フッターの非表示を設定します。</p> <p>図表・Swimlane ベースの関係のインジケータを表示：チェックを入れると図表・Swimlane に紐づけた情報がインジゲーターで表示されます。</p>
その他	グループモード内の表示・非表示を設定します。

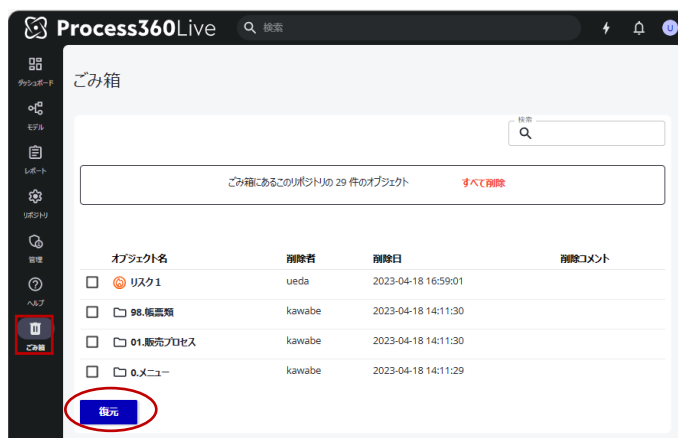
9. ごみ箱

リポジトリ内で削除されたオブジェクトを復元、削除することができます。

9.1 復元

削除したオブジェクトをリポジトリに復元します。

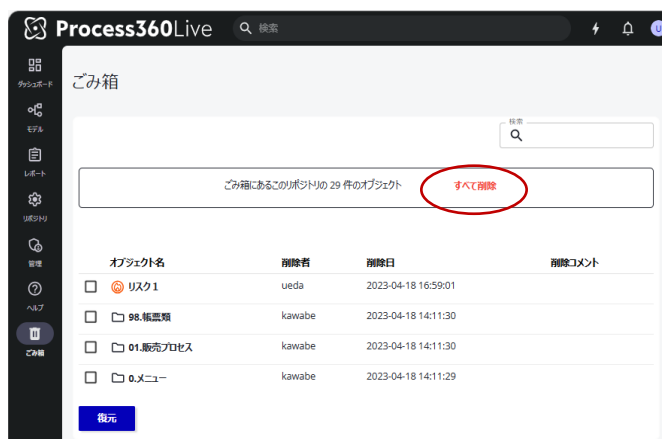
- ① 復元するオブジェクトをクリックしてチェックを入れます。
※オブジェクトの格納されていたフォルダが削除されている場合は復元できません。
- ② 「復元」ボタンをクリックします。



9.2 削除

リポジトリから削除したすべてのオブジェクトをごみ箱から完全に削除します。

- ① 「すべて削除」をクリックします。



- ② 「確認」ボタンをクリックします。

一括削除の警告
ごみ箱内のこのレポートから3件のすべてのオブジェクトを削除しますか? この操作は恒久的なもので、元に戻すことはできません。
<div>キャンセル <input type="button" value="確認"/></div>



<https://www.sunplanning.co.jp/>